

資料-1 用語解説

【あ行】

育児・介護休業法

正式名称は「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」といい、労働者が退職せずに育児や介護を行うことができるよう、休業、時間外労働の制限、勤務時間短縮制度等の措置について定められています。

一般事業主行動計画

次世代育成支援対策推進法に基づき、事業主が従業員の仕事と家庭の両立に関して講じる措置の内容を記載した計画で、従業員300人（平成23年4月からは100人）を超える事業所は計画の策定が義務づけられています。それ以外の事業所は努力義務です。

エンパワーメント

自分で自分の力を取り戻すこと（自律性を促す力を与えること）。

男女共同参画社会の実現のために、女性が自らの意識と能力を高め、社会のあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的及び文化的に力を持った存在となり、力を発揮し、行動していくことです。

【か行】

家族経営協定

経営主と共同経営者である家族員が、個々の意見を尊重し、意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や作業分担、労働報酬、余暇計画など、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間で十分に話し合っ て文書等 で取り決めた協定です。

家庭の日

青少年の健全な育成に、家庭の果たす役割は重要であることから、栃木県では毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家庭の教育力の向上を目指しています。

協働

異なる立場のものが、それぞれの個性や特性を認めあい、活かしながら対等な立場で、共通の目的である課題解決に向けて協力する関係のことです。

子育て支援センター

一緒に子育てについて考え、支援を行うところです。子育てに関する相談や情報提供、親子遊び、子育てのための講座などを行っています。

固定的性別役割分担意識

「男は仕事、女は家事・育児」といったように、性別によって固定的に役割を決める考え方のことで、男女共同参画を実現するための大きな障害となっています。女性が能力を発揮し、自立や社旗参画を進めていくためには、この意識を変えていく必要があります。

【さ行】

参画

社会の様々な場に、単に参加するだけではなく、企画・立案や決定にも自分の意思で関わって意見や考えを出し、負担も責任も担い合うといった主体的かつ積極的な態度や行動をいいます。

ジェンダー

社会通念や慣習の中にある、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」といった社会的性別のことです。

女子差別撤廃条約

正式名称は「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」をいい、1979年（昭和54年）国連第34回総会で採択され、日本では1985年（昭和60年）に批准しました。

この条約は、社会のあらゆる分野において、性別を理由とした差別を直接間接を問わずに禁じることや、男女平等を実現するために、一時的に女性に教育や雇用、審議会などの委員登用の機会など一定に範囲で優先して提供するなどのポジティブアクション（積極的改善措置）を認めることが規定されており、日本では条約批准にあわせて男女雇用機会均等法が制定されました。

性別による違い

（固定的な役割分担・性別による差別的扱いについて）

人間には生まれつきの生物学的性別（セックス）がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的性別（ジェンダー）」といいます。

「ジェンダー・フリー」という用語を使用して、性差を否定したり、男らしさ、女らしさや男女の区別をなくして人間の中性化を目指すこと、また、家族やひな祭り等の伝統文化を否定することは、本プランで目指す男女共同参画社会とは異なります。

セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

性的いやがらせのことをいいます。雇用の場においては、「相手の意に反した性的な言動を行い、それに対する対応によって、仕事をする上で一定の不利益を与えたり、またはそれを繰り返すことによって就業環境を著しく悪化させること」と考えられています。

積極的改善措置

女性や障がい者などの社会的構造的に低い位置に置かれ不利益を被っている人たちに対して、教育や雇用、審議会などの委員登用の機会など一定の範囲で優先して提供したりして、実質的な平等を実現するための暫定的な特別措置をいいます。

【た行】

男女共同参画社会

男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることによって、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担うべき社会のことをいいます。

男女雇用機会均等法

正式名称は「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等女子労働者の福祉の増進に関する法律（昭和61年4月施行）」といい、募集・採用から定年・退職にわたる雇用管理全般において男女を均等に扱うことや、職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止、妊娠及び出産後の女子労働者の健康確保などが規定されています。

栃木県男女共同参画地域推進員

栃木県が、県民の協力を得て男女共同参画の推進を図るため、地域において男女共同参画の普及啓発その他の活動を行う「栃木県男女共同参画地域推進員」を委嘱し、かつ、その活動を支援しているものです。

ドメスティック・バイオレンス

（DV：配偶者等からの暴力）

一般的に、配偶者やパートナーなど親密な関係にある又はあった者からの暴力のことで、単に殴る蹴る等の身体的な暴力だけではなく、威嚇、無視、行動の制限など、心理的な苦痛を与えることも含まれます。また、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が平成13年に施行されています。

【は行】

配偶者暴力相談支援センター

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図るため、相談や相談機関の紹介、カウンセリング、被害者及びその同伴家族の一時保護、被害者の自立生活促進・保護命令制度・保護施設利用などの援助を行う機関です。

ファミリー・サポート・センター

地域における育児等に関して、援助を行いたい人と受けたい人とが会員となって相互に支え合う組織のことです。

母性にかかわる健康と権利

“生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)”という考えが、1994年（平成6年）の国際人口／開発会議の「行動計画」及び1995年（平成7年）の第4回世界女性会議の「北京宣言及び行動綱領」において示されました。

これは、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足いく性生活や安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つ権利などが含まれ、男女がひとりの人間として、自分の体と性と生殖に関することについて自己決定を行い、健康を享受することを尊重するという考え方です。

【や行】

ユニバーサルデザイン

あらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のことです。

【わ行】

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて、健康で豊かに、多様な働き方・生き方が選択・実現できる社会のことです。

資料-2 策定体制

① 壬生町男女共同参画推進委員会設置要綱

壬生町男女共同参画推進委員会設置要綱

平成19年9月20日

教委告示 第14号

(設置)

第1条 壬生町における男女共同参画のまちづくりの推進にあたり、必要な事項について広く町民の意見を求め、施策の推進に資するため、壬生町男女共同参画推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 男女共同参画社会の形成に関すること。
- (2) その他男女共同参画に関連する施策に関すること。

(組織等)

第3条 委員会は、委員16人以内で組織する。

2 委員は、男女共同参画社会の形成について理解と熱意のある者で、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 企業又は団体等からの代表者
- (3) その他教育長が認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は教育委員会事務局生涯学習課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

平成19年10月1日から適用する。

■ 壬生町男女共同参画推進委員会 委員名簿

| | 氏名 | 役職等 | 備考 |
|--------------|--------|--------------------------|--------------|
| 委員 (委員長) | 鈴木 良男 | 町自治会連合会からの代表者 | |
| 委員 (副委員長) | 鯉沼 玲子 | 教育長推薦 (栃木県女性農業士) | |
| 委員 | 遠藤 恭子 | 町議会議員 (教育民生常任委員長) | |
| 委員 | 齊藤 和子 | 人権擁護委員 | |
| 委員 | 木村 園恵 | 栃木県男女共同参画地域推進員 | |
| 委員 | 高田美代子 | 栃木県男女共同参画地域推進員 | |
| 委員 | 青木 隆司 | 商工会長 | |
| 委員 | 松本 好正 | 町金融団 (足利銀行 おもちゃのまち支店長) | ~H28. 10. 31 |
| 委員 | 川尻 隆司 | 町金融団 (栃木信用金庫 おもちゃのまち支店長) | H28. 11. 1~ |
| 委員 | 大橋 渉 | 校長会(羽生田小学校) | |
| 委員 | 廣澤 のぶ江 | 町PTA連合会からの代表者 | |
| 委員 | 小島 佳苗 | 町社会教育委員の会議 委員長 | |
| 委員 | 松本 英子 | 町女性団体連絡協議会長 | |
| 委員 | 加藤 玲子 | 子育て支援グループ「ポケット」代表 | |
| 委員 | 鈴木 節子 | 教育長推薦 (女性建築士) | |

(順不同、敬称略)

② 壬生町男女共同参画推進庁内連絡会議設置要領

壬生町男女共同参画推進庁内連絡会議設置要領

平成19年9月20日

教委要領

改正 平成20年1月24日

改正 平成24年3月7日

(設置)

第1条 壬生町における男女共同参画のまちづくりの推進にあたり、総合的かつ効果的な推進を図るため、壬生町男女共同参画推進庁内連絡会議（以下「連絡会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 連絡会議は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 男女共同参画計画の推進に関すること。
- (2) 男女共同参画に関連する施策に関すること。
- (3) その他男女共同参画社会の形成に必要な事項に関すること。

(組織等)

第3条 連絡会議は、別表第1に掲げる職にある者をもって委員とし、組織する。

(役員)

第4条 連絡会議に委員長及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長には、教育次長をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員の互選により選出する。

(役員職務)

第5条 委員長は、会務を総理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて委員以外の者を会議に出席させ、説明を求めることができる。

(幹事会)

第7条 連絡会議の附議事項を検討するため、連絡会議の下に、壬生町男女共同参画推進庁内連絡会議幹事会（以下「幹事会」という。）を置く。

- 2 幹事会は、生涯学習課長及び別表第2に掲げる各課局の係長相当職以上にある者を持って幹事とし、組織する。
- 3 幹事会は、男女の一方の比率が6割を超えないように努める。
- 4 幹事会に、幹事長及び副幹事長1名を置く。
- 5 幹事長には、生涯学習課長をもって充てる。
- 6 副幹事長は、幹事の互選により選出する。
- 7 幹事長は、会議を招集し、その議長となる。
- 8 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第8条 委員及び幹事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第9条 連絡会議及び幹事会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習課において処理する。

(その他)

第10条 この要領に定めるもののほか、連絡会議及び幹事会の運営に関し必要な事項は、委員長又は幹事長が、会議に諮って定める。

附 則

この要領は平成19年10月1日から適用する。

附 則

この要領は平成20年1月25日から適用する。

附 則

この要領は平成24年4月1日から適用する。

■ 別表第1（第3条関係）

| | 課局名 |
|----|-----------|
| 1 | 教育次長 |
| 2 | 総務課長 |
| 3 | 総合政策課長 |
| 4 | 税務課長 |
| 5 | 議会事務局長 |
| 6 | 会計課長 |
| 7 | 住民課長 |
| 8 | 生活環境課長 |
| 9 | 健康福祉課長 |
| 10 | こども未来課長 |
| 11 | 農政課長 |
| 12 | 農業委員会事務局長 |
| 13 | 商工観光課長 |
| 14 | 水道課長 |
| 15 | 下水道課長 |
| 16 | 都市計画課長 |
| 17 | 建設課長 |
| 18 | 学校教育課長 |
| 19 | 生涯学習課長 |
| 20 | スポーツ振興課長 |

■ 別表第2（第7条関係）

| | 課局名 |
|----|----------|
| 1 | 総務課 |
| 2 | 総合政策課 |
| 3 | 税務課 |
| 4 | 議会事務局 |
| 5 | 会計課 |
| 6 | 住民課 |
| 7 | 生活環境課 |
| 8 | 健康福祉課 |
| 9 | こども未来課 |
| 10 | 農政課 |
| 11 | 農業委員会事務局 |
| 12 | 商工観光課 |
| 13 | 水道課 |
| 14 | 下水道課 |
| 15 | 都市計画課 |
| 16 | 建設課 |
| 17 | 学校教育課 |
| 18 | 生涯学習課 |
| 19 | スポーツ振興課 |

資料-3 策定経緯

| 年 月 日 | 会 議 等 |
|-----------------|--------------------------------|
| 平成28年 5月17日～30日 | 男女共同参画プランに係る施策取組状況及び方針調査（各課調書） |
| 5月30日 | 第1回壬生町男女共同参画推進庁内連絡会幹事会 |
| 6月14日 | 第1回壬生町男女共同参画推進庁内連絡会議 |
| 6月30日 | 第1回壬生町男女共同参画推進委員会 |
| 8月29日 | 第2回壬生町男女共同参画推進委員会 |
| 9月16日～10月3日 | 男女共同参画に関する住民意識調査 |
| 9月23日～10月7日 | 男女共同参画に関する中学生意識調査 |
| 10月27日 | 関係団体ヒアリング |
| 平成29年 1月13日 | 第2回壬生町男女共同参画推進庁内連絡会幹事会 |
| 1月18日 | 第2回壬生町男女共同参画推進庁内連絡会議 |
| 1月24日 | 第3回壬生町男女共同参画推進委員会 |
| 2月28日～3月29日 | パブリックコメント（素案に関する意見募集） |
| 3月30日 | 第4回壬生町男女共同参画推進委員会 |

資料-4 団体ヒアリングの概要

■ 調査の目的

- ・本調査は、住民意識調査に加えて、町民から男女共同参画についての現状や課題、団体としての取り組み状況など、より具体的なご意見などを把握し、「壬生町男女共同参画プラン」を策定する際の基礎資料とすることを目的とするものです。

■ 調査の内容

- (1) 調査対象 : 壬生町内で活動している団体
- (2) 調査方法 : 合同でヒアリング
- (3) 調査事項 : 1) 団体の活動概要について
2) 意見交換など
- (4) 対象団体 :

| | |
|-----------------|------------------|
| ○壬生町消費者友の会 | ○壬生町自治会連合会 |
| ○壬生町人権擁護委員協議会 | ○壬生町子ども会育成会連絡協議会 |
| ○J Aしもつけ壬生地区女性会 | ○壬生町商工会女性部 |
| ○壬生町農村生活研究グループ | |
- (5) 実施日 : 平成28年10月27日
- (5) 主な意見 :
 - 自治会役員に女性が少ない。
 - ・女性が自治会役員を引き受けない。
 - ・自治会役員に女性がでられない雰囲気がある。
 - DV防止対策のため、相談先や施設の周知を図るべきである。
 - 男女共同参画は、女性だけ、男性だけでなく、男女一緒に学んでいくことが重要である。
 - 一人の人が複数の役をこなしている。もっとたくさんの人を吸い上げる必要がある。
 - 職場では、男女共に人材が集まらない状況がある。また、女性は、扶養の範囲内でパートにでる傾向が強い。
 - 女性の団体へのヒアリングだけでなく、男性へのヒアリングも必要ではないか。
 - 男女共同参画についての情報発信をもっと強化すべきである。
 - 男性が参加しやすいように日曜日にヒアリングを開催するなど、男性向けに日時や時間帯を検討すべきである。

資料-5・男女共同参画に関する住民意識調査報告書【概要版】

I 調査概要

(1) 調査の目的

○本調査は、21世紀のよりよいまちづくりを進め、女性と男性が共にいきいきと暮らせる社会（男女共同参画社会）の実現に向けて、その現状と住民の意識や意向などを把握し、「壬生町男女共同参画プラン」を策定する際の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の対象

○町内在住の満20歳以上の町民 1,000人

(3) 調査の方法

○住民基本台帳に基づく無作為抽出（平成28年8月末現在）
○郵送による配布・回収

(4) 調査の期間

○平成28年9月16日（金）～平成28年10月3日（月）

(5) 回収状況

○配布数1,000票に対して回収数388票、回収率は38.8%
○回収数の男女比は、男性172票、女性212票、性別不詳（無回答）4票となっている。

(6) 調査結果の集計・分析

○グラフ・表中の「N」は有効回答数であり、不明（無回答）及び非該当を除いているため、回収数とは一致しない。

○構成比は、質問ごとに不明（無回答）及び非該当を除き算出する。算出された構成比は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しているため、合計が100%とならないものもある。

○また、「壬生町男女共同参画プラン」において目標値が設定されている項目に関しては、前回調査と同様に不明（無回答）を含む集計を行った。

○単純集計：
質問ごとに集計を行った。（シングルアンサー【SA】／マルチアンサー【MA】）

○過去調査結果との比較：
過去調査結果（前回：平成23年、前々回：平成17年）と同様の設問については、可能な範囲で比較を行った。

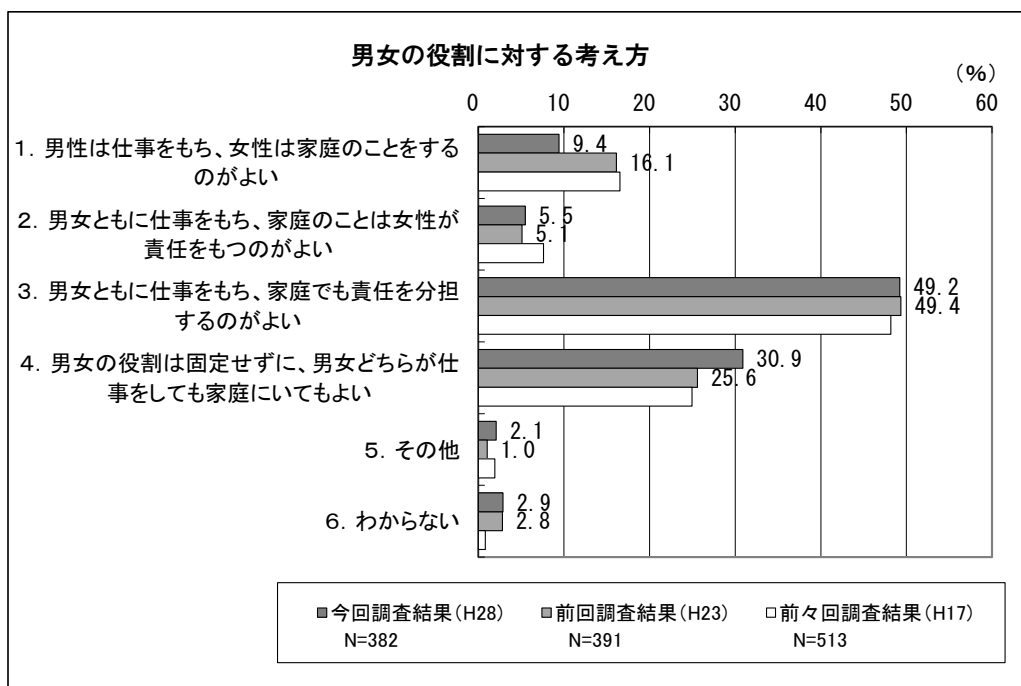
Ⅱ 集計結果

① 男女（夫婦）の役割分担について

①-1 男女の役割に対する考え方【SA】

■ 「男女ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい」が最も高く約半数

問1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1つに○印]



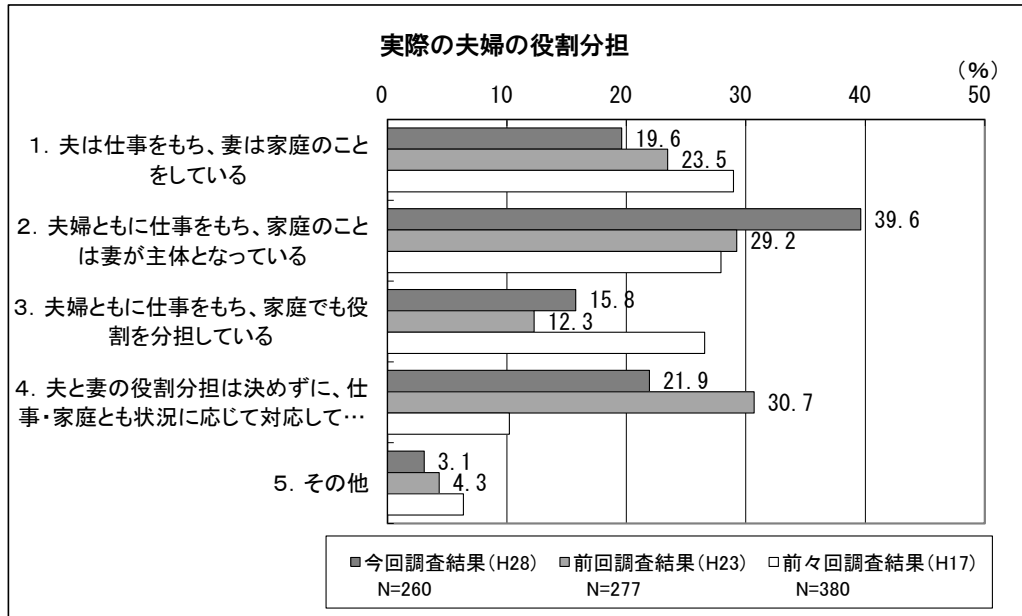
| | | 問1 男女の役割に対する考え方 | | | | | | |
|----|-------|-----------------|-----------|-------------|-------------|----------|-----------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 無回答 |
| 全体 | 合計 | 36 100.0 | 21 9.4 | 188 49.2 | 118 30.9 | 8 2.1 | 11 2.9 | 6 |
| | 性別 | | | | | | | |
| 性別 | 1. 男性 | 20 100.0 | 13 7.6 | 76 44.7 | 54 31.8 | 3 1.8 | 4 2.4 | 2 |
| | 2. 女性 | 15 100.0 | 8 7.2 | 111 53.1 | 63 30.1 | 5 2.4 | 7 3.3 | 3 |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。
 ※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

①-2 実際の夫婦の役割分担 [SA]

■ 「夫婦ともに仕事をもち、家庭のことは妻が主体となっている」が約4割

問2 あなたの家庭において、夫婦の役割分担はどのようになっていますか。最も近いものを選んでください。[1つに○印]



| | | 問2 実際の夫婦の役割分担 | | | | | | | |
|----|-------|---------------|------------|-------------|------------|------------|----------|-----|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 | 非該当 | |
| 全体 | 合計 | 264 100.0 | 51 19.6 | 103 39.6 | 41 15.8 | 57 21.9 | 8 3.1 | 4 | 124 |
| | 1. 男性 | 118 100.0 | 23 19.7 | 42 35.9 | 22 18.8 | 28 23.9 | 2 1.7 | 1 | 54 |
| 性別 | 2. 女性 | 145 100.0 | 28 19.7 | 60 42.3 | 19 13.4 | 29 20.4 | 6 4.2 | 3 | 67 |

※回答者は、「既婚（夫婦同居）」で、「未婚」及び「既婚（夫婦別居・離別・死別を含む）」は非該当。

※構成比は、不明（無回答）及び非該当を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

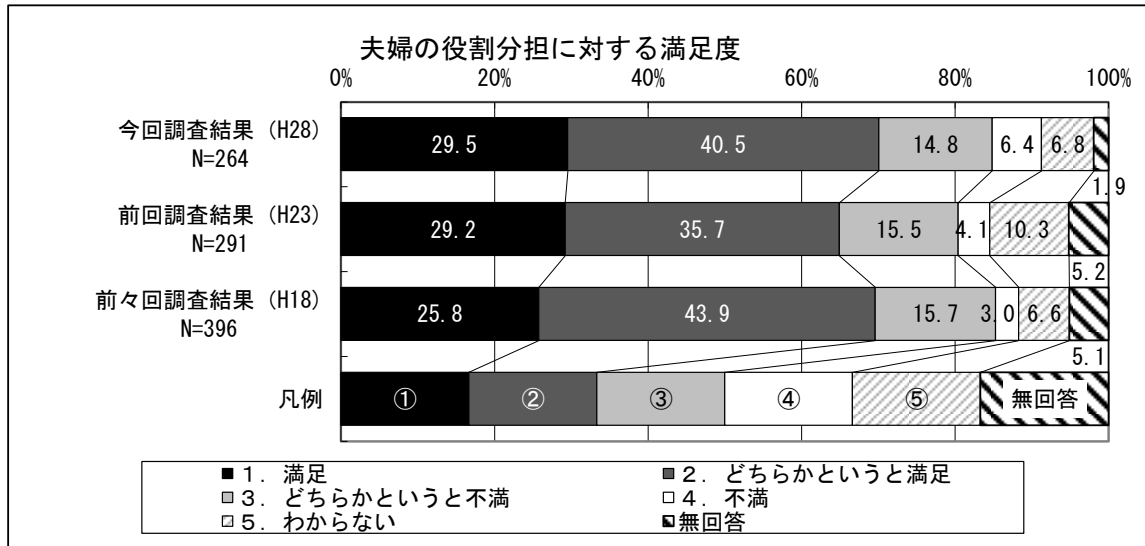
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

資料-5 住民意識調査報告書【概要版】

①-3 夫婦の役割分担に対する満足度 [SA]

■ 「満足」「どちらかという満足」を合わせると約7割

問3 問2のようなご夫婦の役割分担について満足されていますか。[1つに○印]



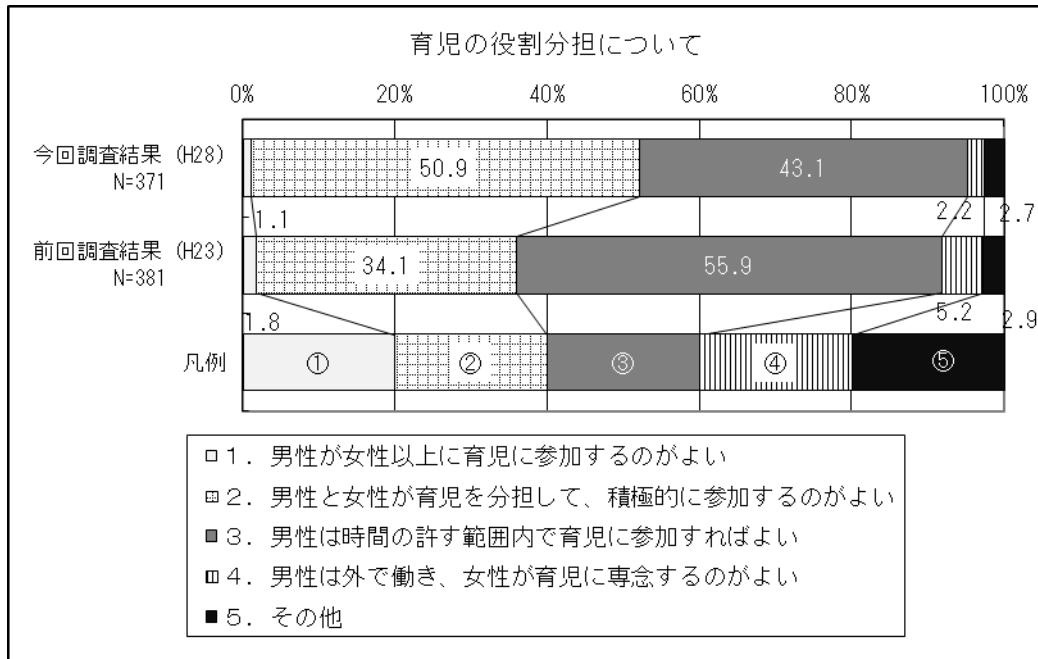
| | | 全体 | 問3 夫婦の役割分担に対する満足度 | | | | | 非該当 | 平均値 | |
|----|-------|--------------|-------------------|-------------|------------|------------|-----------|----------|-----|------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | |
| | | | 満足 | どちらかという満足 | どちらかという不満 | 不満 | わからない | 無回答 | | |
| 合計 | | 264 100.0 | 78 29.5 | 107 40.5 | 39 14.8 | 17 6.4 | 18 6.9 | 5 1.9 | 124 | 2.27 |
| 性別 | 1. 男性 | 118 100.0 | 46 39.0 | 53 44.9 | 4 3.4 | 2 1.7 | 12 6.9 | 1 0.8 | 54 | 1.83 |
| | 2. 女性 | 145 100.0 | 32 22.1 | 54 37.2 | 34 23.4 | 15 10.3 | 6 6.9 | 4 2.8 | 67 | 2.62 |

※回答者は、「既婚（夫婦同居）」で、「未婚」及び「既婚（夫婦別居・離別・死別を含む）」は非該当。
 ※構成比は、非該当を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。
 ※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。
 ※平均値は、を「1. 満足」を1、「2. どちらかという満足」を2、「5. わからない」を3、「3. どちらかという不満」を4、「4. 不満」を5とした加重平均を表す。

①-4 育児の役割分担について [SA]

■ 「男性と女性が育児を分担して、積極的に参加するのがよい」が約半数

問4 男性（父親）と女性（母親）の育児の役割分担についてどのように思いますか。[1つに○印]



| | | 問4 育児の役割分担について | | | | | | |
|----|-------|---------------------|----------------------------|------------------------|------------------------|----------|-----------|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 | |
| 全体 | | 男性が女性以上に育児に参加するのがよい | 男性と女性が育児を分担して、積極的に参加するのがよい | 男性は時間の許す範囲内で育児に参加すればよい | 男性は外で働き、女性が育児に専念するのがよい | その他 | 無回答 | |
| 合計 | | 388 100.0 | 4 1.1 | 189 50.9 | 160 43.1 | 8 2.2 | 10 2.7 | 17 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 1 0.6 | 85 51.2 | 72 43.4 | 6 3.6 | 2 1.2 | 6 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 3 1.5 | 102 50.7 | 87 43.3 | 2 1.0 | 7 3.5 | 11 |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

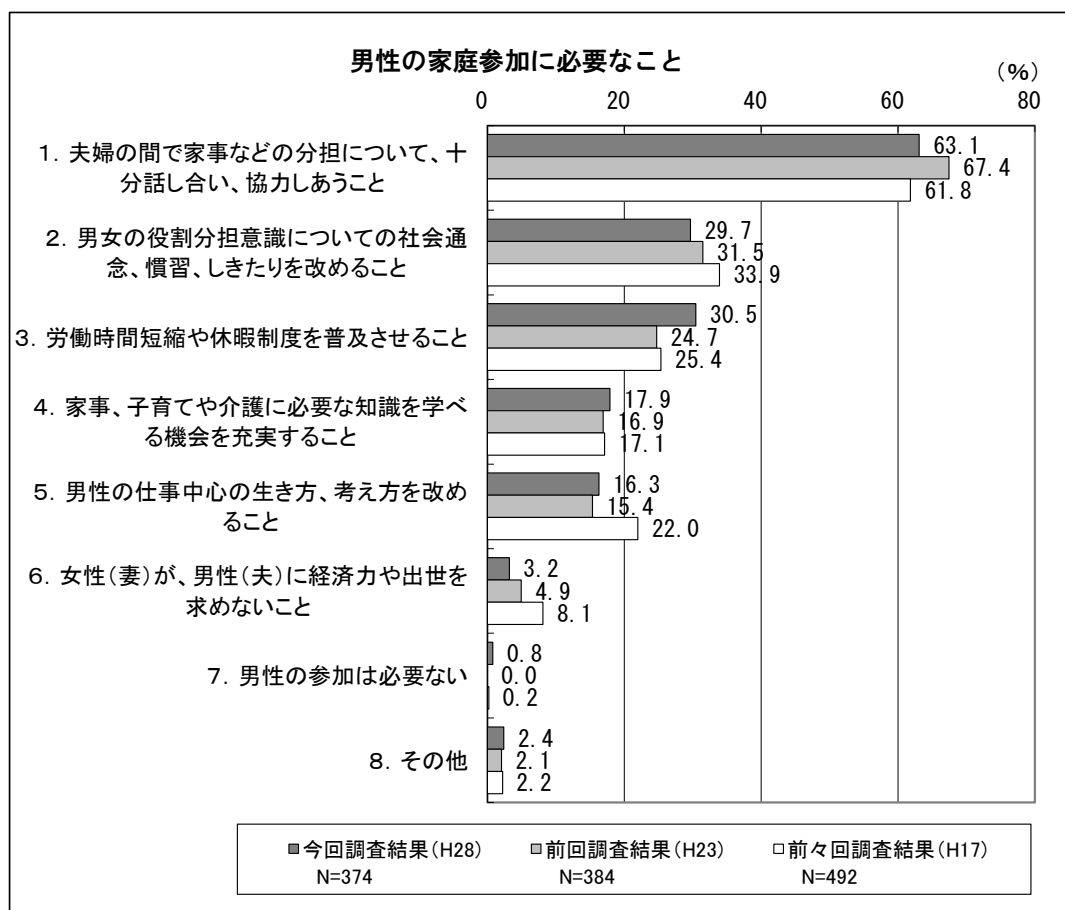
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

資料-5 住民意識調査報告書【概要版】

①-5 男性の家庭参加に必要なこと [MA]

■ 「夫婦の間で家事などの分担について、十分話し合い、協力し合うこと」が約6割

問5 男性が家事や子育て、介護などの家庭内のことに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○印]



| | 全体 | 問5 男性の家庭参加に必要なこと | | | | | | | | 回答実数 | | |
|----|--------------|------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|----------|----------|----------|-----|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | |
| 合計 | 388 163.9 | 236 63.1 | 111 29.7 | 114 30.5 | 67 17.9 | 61 16.3 | 12 3.2 | 3 0.8 | 9 2.4 | 14 | 613 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 159.3 | 94 56.3 | 49 29.3 | 55 32.9 | 21 12.6 | 31 18.6 | 9 5.4 | 3 1.8 | 4 2.4 | 5 | 266 |
| | 2. 女性 | 212 167.0 | 139 68.5 | 60 29.6 | 57 28.1 | 45 22.2 | 30 14.8 | 3 1.5 | 0 0.0 | 5 2.5 | 9 | 339 |

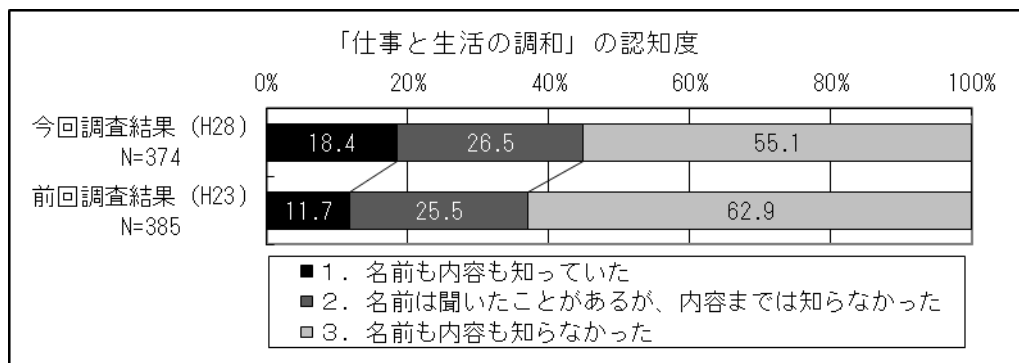
※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものの。
 ※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計と一致しない場合がある。
 ※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

② 仕事と生活の調和について

②-1 「仕事と生活の調和」の認知度 [SA]

■ 「名前も内容も知らなかった」が半数以上

問6 あなたは、この『ワークライフバランス』という言葉をどの程度知っていますか。[1つに○印]



| | | 全体 | 問6 「仕事と生活の調和」の認知 | | | |
|----|-------|--------------|------------------|--------------------------|--------------|-----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 無回答 |
| | | | 名前も内容も知っていた | 名前は聞いたことがあるが、内容までは知らなかった | 名前も内容も知らなかった | 無回答 |
| 合計 | | 388 100.0 | 69 18.4 | 99 26.5 | 206 55.1 | 14 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 31 18.7 | 45 27.1 | 90 54.2 | 6 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 35 17.2 | 53 26.0 | 116 56.9 | 8 |

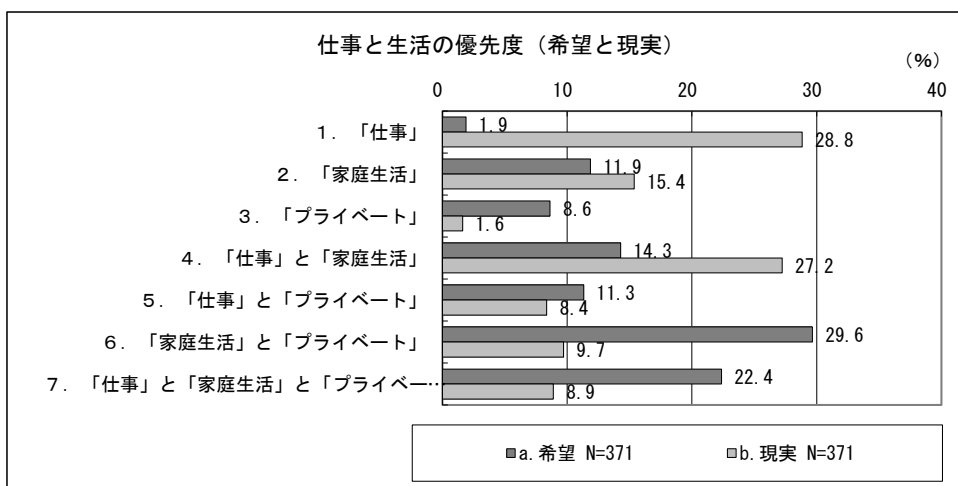
※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

②-2 仕事と生活の優先度 [SA]

■ 希望では「家庭生活とプライベート」、現実では「仕事」が最も高く3割程度

問7 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「プライベート」の優先度についておうかがいします。あなたはどちらを優先したいですか。『a. 希望』と『b. 現実』を、それぞれ選んでください。[各1つに○印]



| | | 全体 | 問7a 仕事と生活の優先度(希望) | | | | | | | 無回答 |
|----|-------|-------|-------------------|-------------|---------------|----------------------|------------------------|----------------------|-------------------------------|-----|
| | | | 1 「仕事」 | 2 「家庭生活」 | 3 「プライベート」 | 4 「仕事」と 「家庭生活」 | 5 「仕事」と 「プライベート」 | 6 「家庭生活」と「プライベート」 | 7 「仕事」と 「家庭生活」と「プライベート」 | |
| 合計 | | 388 | 7 | 44 | 32 | 53 | 42 | 110 | 83 | 17 |
| | | 100.0 | 1.9 | 11.9 | 8.6 | 14.3 | 11.3 | 29.6 | 22.4 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 6 | 14 | 18 | 28 | 19 | 42 | 40 | 5 |
| | | 100.0 | 3.6 | 8.4 | 10.8 | 16.8 | 11.4 | 25.1 | 24.0 | |
| 性別 | 2. 女性 | 212 | 1 | 30 | 14 | 25 | 22 | 67 | 41 | 12 |
| | | 100.0 | 0.5 | 15.0 | 7.0 | 12.5 | 11.0 | 33.5 | 20.5 | |

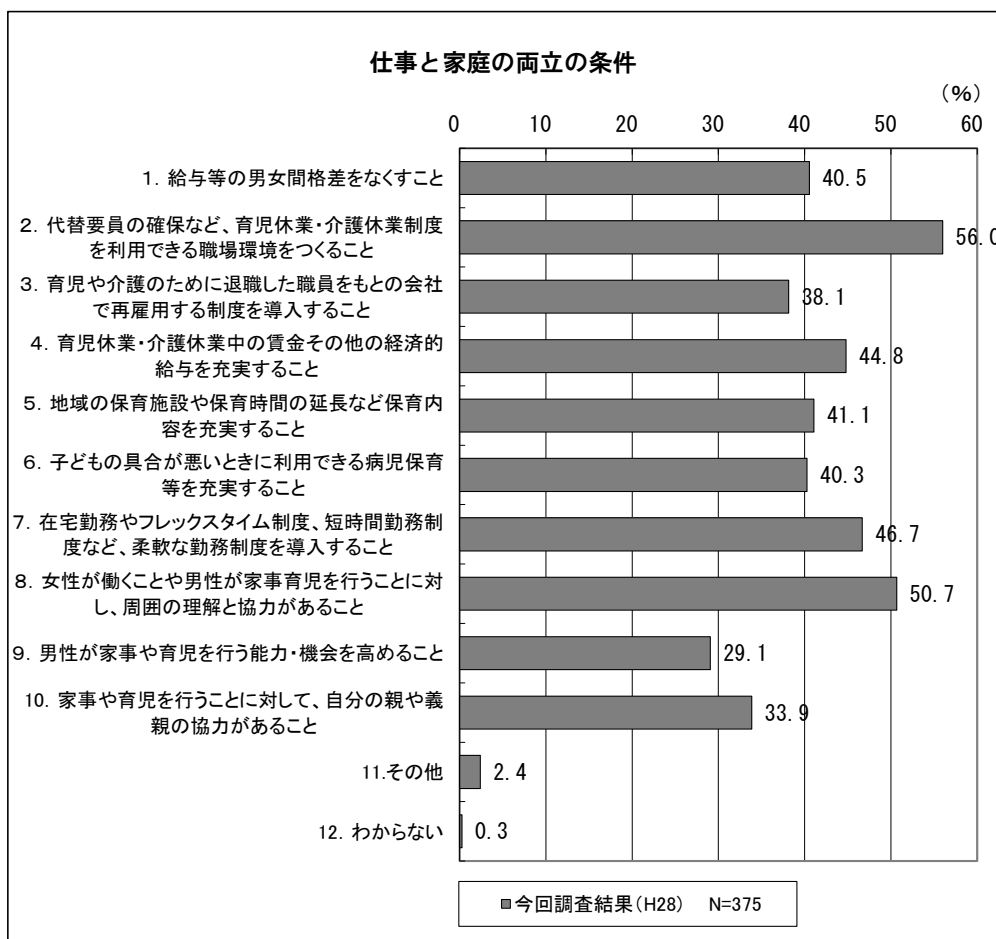
| | | 全体 | 問7b 仕事と生活の優先度(現実) | | | | | | | 無回答 |
|----|-------|-------|-------------------|-------------|---------------|----------------------|------------------------|----------------------|-------------------------------|-----|
| | | | 1 「仕事」 | 2 「家庭生活」 | 3 「プライベート」 | 4 「仕事」と 「家庭生活」 | 5 「仕事」と 「プライベート」 | 6 「家庭生活」と「プライベート」 | 7 「仕事」と 「家庭生活」と「プライベート」 | |
| 合計 | | 388 | 107 | 57 | 6 | 101 | 31 | 36 | 33 | 17 |
| | | 100.0 | 28.8 | 15.4 | 1.6 | 27.2 | 8.4 | 9.7 | 8.9 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 66 | 7 | 4 | 41 | 21 | 12 | 15 | 6 |
| | | 100.0 | 39.8 | 4.2 | 2.4 | 24.7 | 12.7 | 7.2 | 9.0 | |
| 性別 | 2. 女性 | 212 | 39 | 50 | 2 | 59 | 10 | 24 | 17 | 11 |
| | | 100.0 | 19.4 | 24.9 | 1.0 | 29.4 | 5.0 | 11.9 | 8.5 | |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。
 ※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

②-3 仕事と家庭の両立の条件 [MA]

■ 育児休業等を利用できる職場環境の整備が5割以上

問9 あなたは、男女が共に仕事と家庭の両立をしていくために、どのような条件が必要だと思いますか。[あてはまるものすべてに○印]



| | 全体 | 問9 仕事と家庭の両立の条件 | | | | | | | | | | | | 回答実数 | | |
|----|--------------|-----------------|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|--|---------------------------------------|------------------------|--------------------------------|------------|----------|----------|-------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | 無回答 | |
| | | 給与等の男女間格差をなくすこと | 代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること | 育児や介護のために退職した職員をもとの会社で再雇用する制度を導入すること | 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給与を充実すること | 地域の保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実すること | 子どもの具合が悪いときに利用できる病児保育等を充実すること | 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度など、柔軟な勤務制度を導入すること | 女性が働くことや男性が家事育児を行うことに対し、周囲の理解と協力があること | 男性が家事や育児を行う能力・機会を高めること | 家事や育児を行うことに対して、自分の親や義親の協力があること | その他 | わからない | 無回答 | | |
| 合計 | 388 423.7 | 152 40.5 | 210 56.0 | 143 38.1 | 168 44.8 | 154 41.1 | 151 40.3 | 175 46.7 | 190 50.7 | 109 29.1 | 127 33.9 | 9 2.4 | 1 0.3 | 13 | 1,589 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 399.4 | 71 42.3 | 89 53.0 | 61 36.3 | 79 47.0 | 64 38.1 | 55 32.7 | 71 42.3 | 71 42.3 | 46 27.4 | 58 34.5 | 5 3.0 | 1 0.6 | 4 | 671 |
| | 2. 女性 | 212 437.9 | 80 39.4 | 117 57.6 | 79 38.9 | 86 42.4 | 86 42.4 | 92 45.3 | 100 49.3 | 116 57.1 | 61 30.0 | 68 33.5 | 4 2.0 | 0 0.0 | 9 | 889 |

※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものの。

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計と一致しない場合がある。

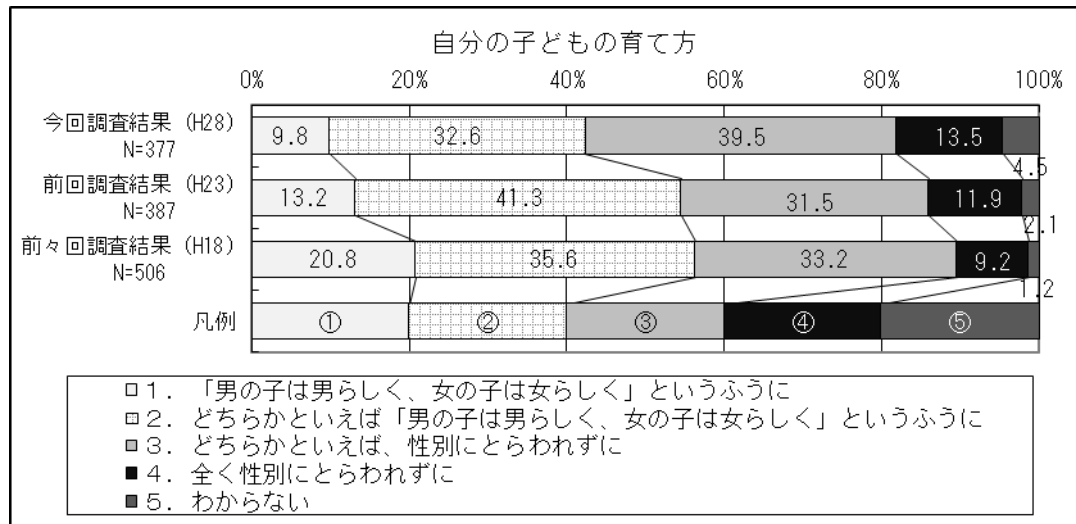
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

③ 子育てや教育について

③-1 自分の子どもの育て方【SA】

■ 「どちらかといえば性別にとらわれず」が4割

問15 それでは、あなたは、自分の子どもをどう育てたいと思いますか。最も近いものを選んでください。(子どもがいない場合には、“子どもがいる”と仮定してお考えください。)[1つに○印]



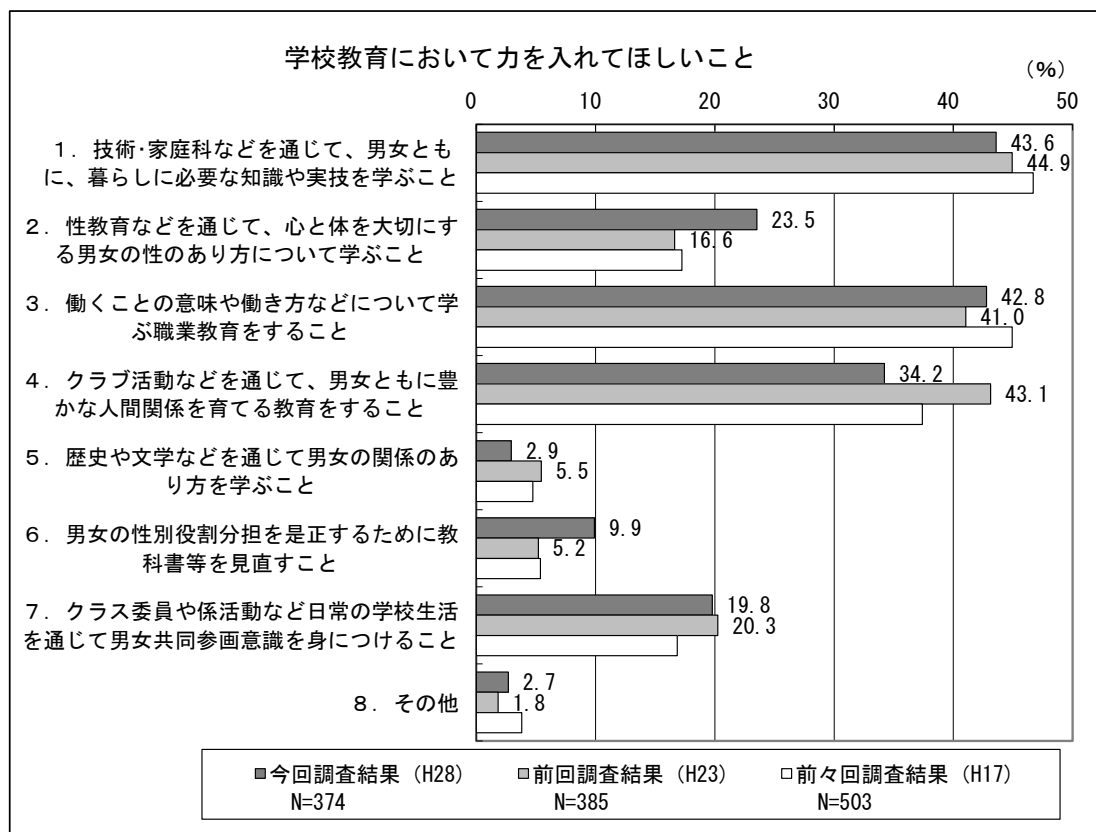
| | | 問15 自分の子どもの育て方 | | | | | | |
|----|-------|--------------------------|----------------------------------|-------------------|-------------|------------|-----------|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 | |
| | 全体 | 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふう | どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふう | どちらかといえば、性別にとらわれず | 全く性別にとらわれずに | わからない | | |
| | 合計 | 388 100.0 | 37 9.8 | 123 32.6 | 149 39.5 | 51 13.5 | 17 4.5 | 11 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 22 13.0 | 56 33.1 | 56 33.1 | 23 13.6 | 12 7.1 | 3 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 14 6.9 | 67 32.8 | 93 45.6 | 25 12.3 | 5 2.5 | 8 |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

③-2 学校教育において力を入れてほしいこと [MA]

■ 「暮らしに必要な知識や実技を学ぶこと」「働くことの意味や働き方などについて学ぶ職業教育」が高く、ともに4割程度

問 16 男女が互いにその人権を尊重しつつ、ともに責任をもち、協力しあって暮らす社会をつくるために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[2つ以内で○印]



| | 全体 | 問16 学校教育において力を入れてほしいこと | | | | | | | | | 回答実数 | |
|----|--------------|------------------------|------------|-------------|-------------|------------|-----------|------------|------------|----------|------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 無回答 | | |
| 合計 | 388 179.4 | 163 43.6 | 88 23.5 | 160 42.8 | 128 34.2 | 11 2.9 | 37 9.9 | 74 19.8 | 10 2.7 | 14 | 671 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 178.4 | 71 42.5 | 32 19.2 | 76 45.5 | 54 32.3 | 8 4.8 | 13 7.8 | 40 24.0 | 4 2.4 | 5 | 298 |
| | 2. 女性 | 212 180.3 | 90 44.3 | 53 26.1 | 84 41.4 | 73 36.0 | 3 1.5 | 24 11.8 | 33 16.3 | 6 3.0 | 9 | 366 |

※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものの。

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計と一致しない場合がある。

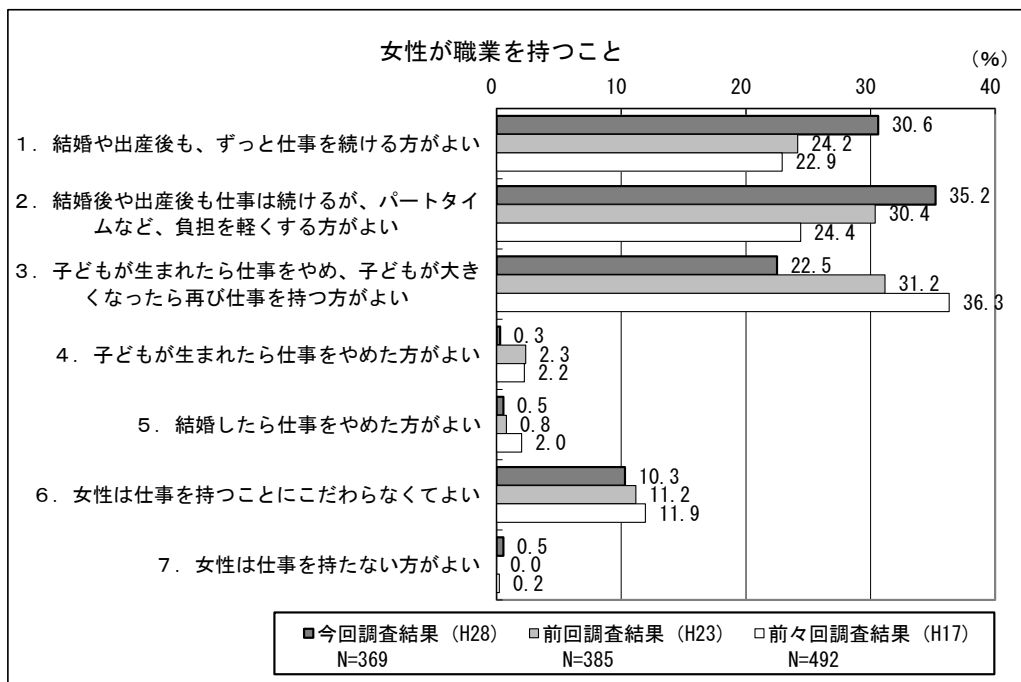
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

④ 就労について

④-1 女性が仕事を持つこと [SA]

■ 「結婚等の後も仕事は続け、負担を軽くする方がよい」が最も高く約3分の1

問 17 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。
[1つに○印]



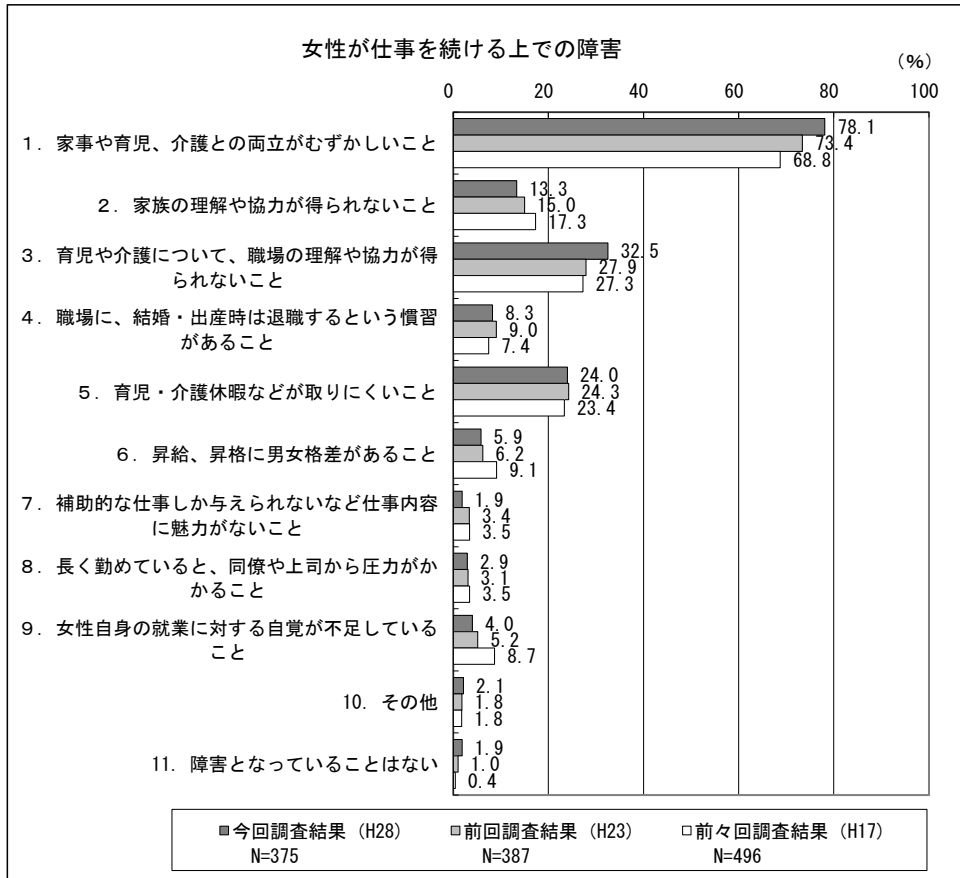
| | | 問17 女性が職業を持つこと | | | | | | | 無回答 | |
|-------|-------|----------------|------|------|------|-----|-----|------|-----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | |
| 全体 | 合計 | 388 | 113 | 130 | 83 | 1 | 2 | 38 | 2 | 19 |
| | | 100.0 | 30.6 | 35.2 | 22.5 | 0.3 | 0.5 | 10.3 | 0.5 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 50 | 53 | 41 | 1 | 0 | 20 | 1 | 6 |
| | | 100.0 | 30.1 | 31.9 | 24.7 | 0.6 | 0.0 | 12.0 | 0.6 | |
| 2. 女性 | 合計 | 212 | 60 | 77 | 42 | 0 | 2 | 17 | 1 | 13 |
| | | 100.0 | 30.2 | 38.7 | 21.1 | 0.0 | 1.0 | 8.5 | 0.5 | |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

④-2 女性が仕事を続ける上での障害 [MA]

■ 「家事や育児、介護との両立がむずかしいこと」が全体の4分の3程度

問 18 女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思えますか。[2つ以内で○印]



| | 全体 | 問18 女性が仕事を続け上での障害 | | | | | | | | | | | 回答実数 | | |
|-------|-------|-------------------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | | 無回答 | |
| 合計 | 388 | 293 | 50 | 122 | 31 | 90 | 22 | 7 | 11 | 15 | 8 | 7 | 13 | 656 | |
| | 1749 | 78.1 | 13.3 | 32.5 | 8.3 | 24.0 | 5.9 | 1.9 | 2.9 | 4.0 | 2.1 | 1.9 | | | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 126 | 25 | 52 | 18 | 34 | 10 | 6 | 5 | 10 | 3 | 4 | 3 | 293 |
| | 1734 | 74.6 | 14.8 | 30.8 | 10.7 | 20.1 | 5.9 | 3.6 | 3.0 | 5.9 | 1.8 | 2.4 | | | |
| 2. 女性 | 212 | 164 | 25 | 67 | 13 | 56 | 11 | 1 | 6 | 5 | 5 | 3 | 10 | 356 | |
| | 1762 | 81.2 | 12.4 | 33.2 | 6.4 | 27.7 | 5.4 | 0.5 | 3.0 | 2.5 | 2.5 | 1.5 | | | |

※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものです。

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

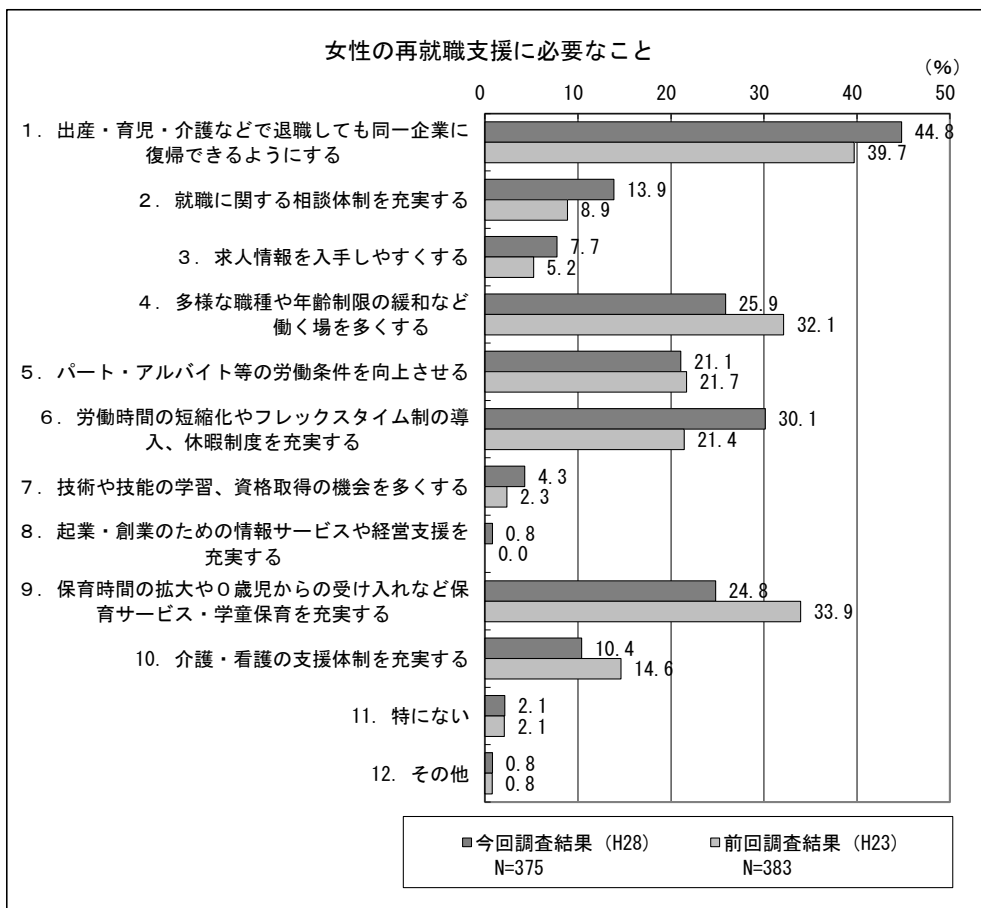
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

資料-5 住民意識調査報告書【概要版】

④-3 女性の再就職支援に必要なこと【MA】

■ 「出産・育児・介護などで退職しても同一企業に復帰できるようにする」ことが高い

問19 退職後、再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いますか。[2つ以内で○印]



| | 全体 | 問19 女性の再就職支援に必要なこと | | | | | | | | | | | | 回答実数 | |
|-------|-------|--------------------|------|-----|------|------|------|-----|-----|------|------|-----|-----|------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | |
| 合計 | 388 | 168 | 52 | 29 | 97 | 79 | 113 | 16 | 3 | 93 | 39 | 8 | 3 | 13 | 700 |
| 1. 男性 | 172 | 85 | 19 | 12 | 34 | 38 | 56 | 4 | 1 | 39 | 17 | 4 | 2 | 3 | 311 |
| 2. 女性 | 212 | 81 | 33 | 17 | 62 | 41 | 55 | 12 | 2 | 53 | 21 | 4 | 1 | 10 | 382 |
| | 189.1 | 40.1 | 16.3 | 8.4 | 30.7 | 20.3 | 27.2 | 5.9 | 1.0 | 26.2 | 10.4 | 2.0 | 0.5 | | |

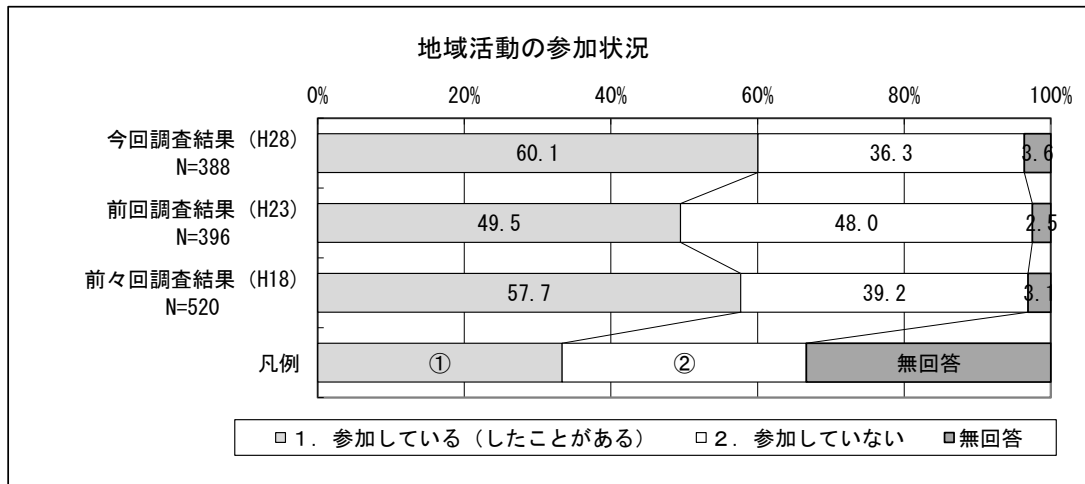
※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものの。
 ※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。
 ※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

⑤ 地域活動について

⑤-1 地域活動の参加状況 [SA]

■ 地域活動の参加率が前回調査から上がり6割を超える

問21 あなたは、地域活動に参加していますか。(または、参加したことがありますか。)[1つに○印]



| | | 全体 | 問21 地域活動の参加状況 | | |
|----|-------|--------------|-----------------------------|-------------|-----------|
| | | | 1 | 2 | 無回答 |
| | | | 参加して いる(した ことがあ る) | 参加して いない | 無回答 |
| 合計 | | 388 100.0 | 233 60.1 | 141 36.3 | 14 3.6 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 102 59.3 | 64 37.2 | 6 3.5 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 128 60.4 | 76 35.8 | 8 3.8 |

※構成比は、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

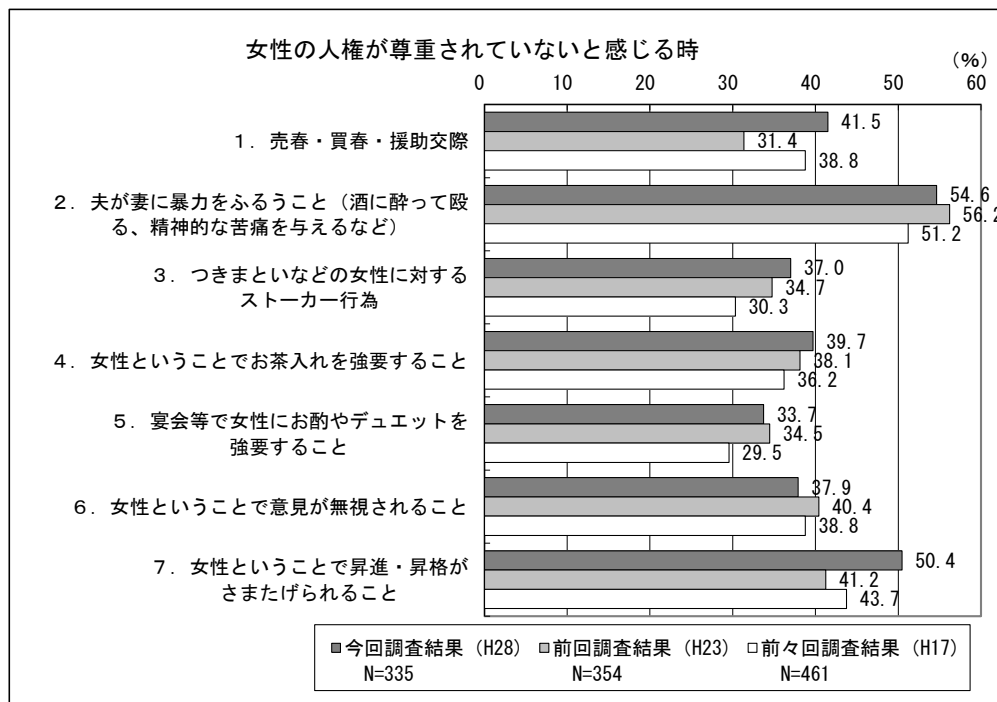
※合計には、性別不詳(無回答)を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

⑥ 人権について

⑥-1 女性の人権が尊重されていないと感じる時【MA】

■ 「夫が妻に暴力をふるうこと」「女性ということで昇進・昇格がさまたげられること」などが高い

問 23 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。[あてはまるものすべてに○印]



| | 全体 | 問23 女性の人権が尊重されていないと感じる時 | | | | | | | 無回答 | 回答実数 | |
|-------|-------|-------------------------|-------------------------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------|-------------------------|------|------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | |
| | | 売春・買春・援助交際 | 夫が妻に暴力をふるうこと (酒に酔って殴る、精神的な苦痛を与えるなど) | つきまといなどの女性に対するストーカー行為 | 女性ということでお茶入れを強要すること | 宴会等で女性にお酌やデュエットを強要すること | 女性ということで意見が無視されること | 女性ということで昇進・昇格がさまたげられること | | | |
| 合計 | 388 | 139 | 183 | 124 | 133 | 113 | 127 | 169 | 53 | 988 | |
| | | 294.9 | 41.5 | 54.6 | 37.0 | 39.7 | 33.7 | 37.9 | 50.4 | | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 52 | 73 | 55 | 60 | 50 | 60 | 80 | 25 | 430 |
| | | 292.5 | 35.4 | 49.7 | 37.4 | 40.8 | 34.0 | 40.8 | 54.4 | | |
| 2. 女性 | 212 | 86 | 107 | 67 | 72 | 61 | 65 | 86 | 28 | 544 | |
| | 295.7 | 46.7 | 58.2 | 36.4 | 39.1 | 33.2 | 35.3 | 46.7 | | | |

※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものです。

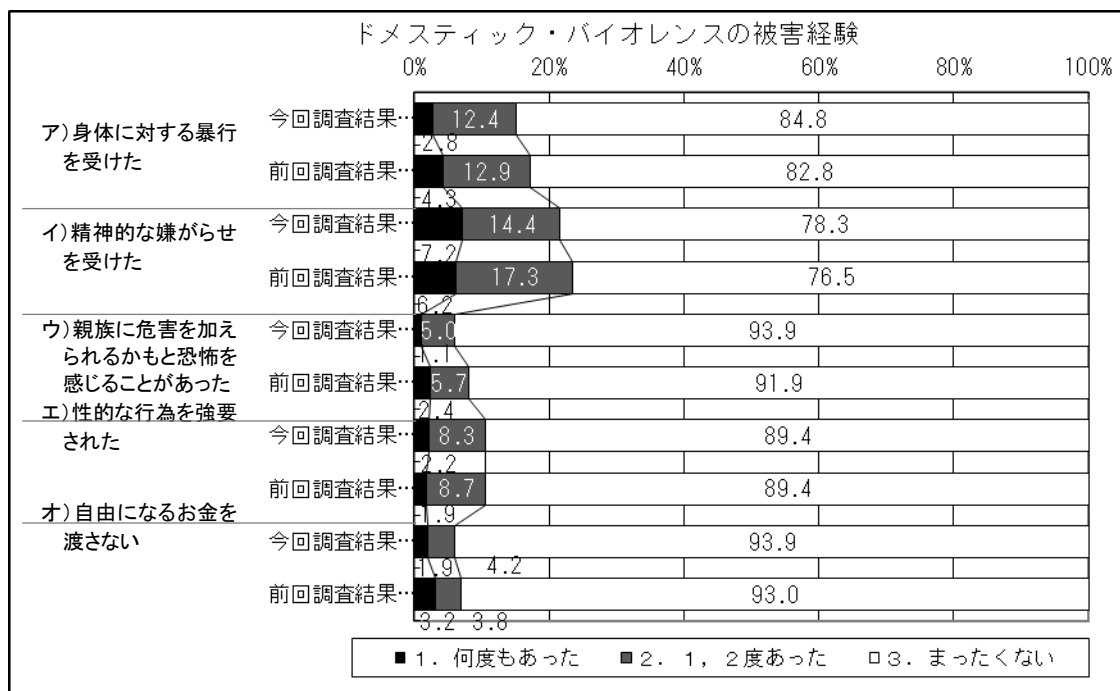
※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

⑥-2 ドメスティック・バイオレンスの被害経験 [SA]

■ 「精神的な嫌がらせを受けた」、「身体に対する暴行を受けた」経験が約2割

問26 あなたはこれまでに、あなたの配偶者等（パートナー、恋人も含みます）から、次のア）～オ）のようなことをされたことがありますか。[項目ごとに1つずつ〇印]



| | 全体 | 問26ア) 身体に対する暴行を受けた | | | | 問26イ) 精神的な嫌がらせを受けた | | | | |
|----|-------|--------------------|----------|--------|-----|--------------------|----------|--------|-----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 無回答 | 1 | 2 | 3 | 無回答 | |
| | | 何度もあった | 1, 2度あった | まったくない | | 何度もあった | 1, 2度あった | まったくない | 無回答 | |
| 合計 | 388 | 10 | 45 | 308 | 25 | 26 | 52 | 282 | 28 | |
| | 100.0 | 2.8 | 12.4 | 84.8 | | 7.2 | 14.4 | 78.3 | | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 0 | 15 | 145 | 12 | 4 | 20 | 136 | 12 |
| | 100.0 | 0.0 | 9.4 | 90.6 | | 2.5 | 12.5 | 85.0 | | |
| 性別 | 2. 女性 | 212 | 9 | 30 | 160 | 13 | 21 | 32 | 143 | 16 |
| | 100.0 | 4.5 | 15.1 | 80.4 | | 10.7 | 16.3 | 73.0 | | |

| | 全体 | 問26ウ) 親族に危害を加えられるか | | | | 問26エ) 性的な行為を強要された | | | | |
|----|-------|--------------------|----------|--------|-----|-------------------|----------|--------|-----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 無回答 | 1 | 2 | 3 | 無回答 | |
| | | 何度もあった | 1, 2度あった | まったくない | | 何度もあった | 1, 2度あった | まったくない | 無回答 | |
| 合計 | 388 | 4 | 18 | 339 | 27 | 8 | 30 | 322 | 28 | |
| | 100.0 | 1.1 | 5.0 | 93.9 | | 2.2 | 8.3 | 89.4 | | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 2 | 6 | 153 | 11 | 1 | 4 | 155 | 12 |
| | 100.0 | 1.2 | 3.7 | 95.0 | | 0.6 | 2.5 | 96.9 | | |
| 性別 | 2. 女性 | 212 | 2 | 12 | 182 | 16 | 7 | 26 | 163 | 16 |
| | 100.0 | 1.0 | 6.1 | 92.9 | | 3.6 | 13.3 | 83.2 | | |

| | 全体 | 問26オ) 自由になるお金を渡さない | | | | |
|----|-------|--------------------|----------|--------|-----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 無回答 | |
| | | 何度もあった | 1, 2度あった | まったくない | | |
| 合計 | 388 | 7 | 15 | 339 | 27 | |
| | 100.0 | 1.9 | 4.2 | 93.9 | | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 2 | 5 | 153 | 12 |
| | 100.0 | 1.3 | 3.1 | 95.6 | | |
| 性別 | 2. 女性 | 212 | 5 | 10 | 182 | 15 |
| | 100.0 | 2.5 | 5.1 | 92.4 | | |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

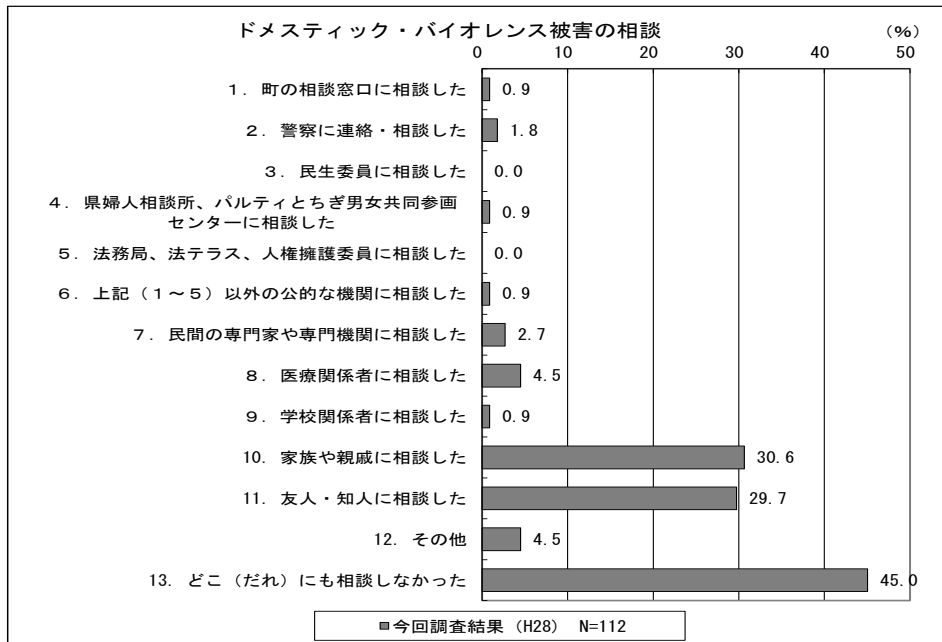
※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

資料-5 住民意識調査報告書【概要版】

⑥-3 ドメスティック・バイオレンス被害の相談【MA】

■ 「どこにも相談しなかった」が4割強、「家族や親戚」「知人・友人」が3割程度

問 26-1 あなたは、配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。
[あてはまるものすべてに○印]



| | 全体 | 問26-1 DV被害の相談 | | | | | | | | | | | | | 無回答 | 非該当 | 回答実数 | |
|----|-------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|-----|------|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | | | | |
| 合計 | 113 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 5 | 1 | 34 | 33 | 5 | 50 | 1 | 275 | 136 | |
| 性別 | 1. 男性 | 34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 6 | 7 | 1 | 22 | 2 | 138 | 38 | |
| | 2. 女性 | 78 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 4 | 1 | 27 | 26 | 4 | 28 | 1 | 134 | 97 |
| | | 122.5 | 0.9 | 1.8 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 0.9 | 2.7 | 4.5 | 0.9 | 30.6 | 29.7 | 4.5 | 45.0 | | | |

※回答者は、前問（問26）で、「1. 何度もあった」、「2. 1、2度あった」と1つでも回答された方。
 ※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものだ。
 ※構成比は、不明（無回答）及び非該当を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。
 ※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

⑥-4 相談しなかった理由【MA】

■ 「相談するほどのことではないと思ったから」が6割

問 26-2 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。[あてはまるものすべてに○印]

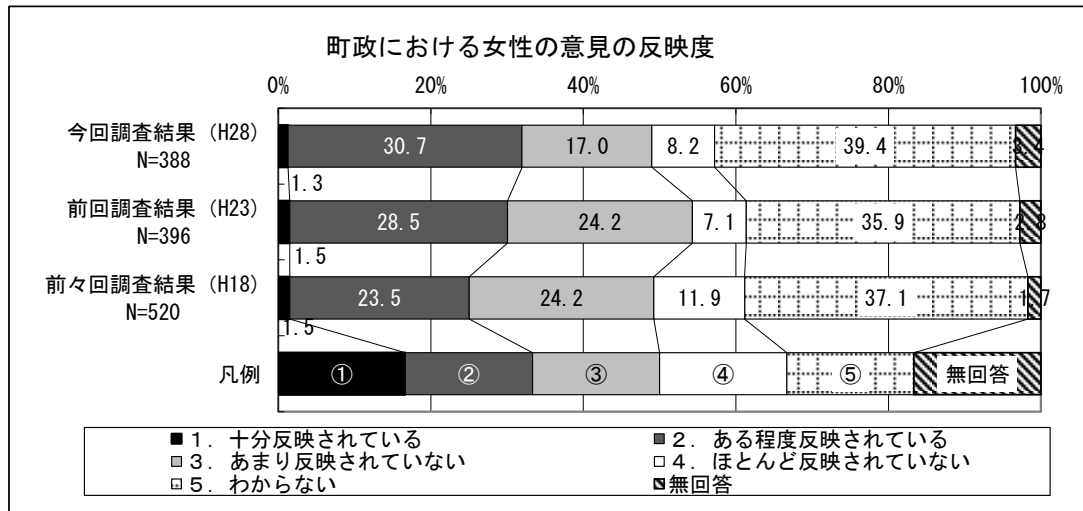
○「14. 相談するほどのことではないと思ったから」が59.2%、「3. 相談してもむだだと思ったから」及び「12. 自分にも悪いところがあったから」が24.5%

⑦ 政治や政策への参加について

⑦-1 町政における女性の意見の反映度 [SA]

■ 「反映されている」という回答が約3割で、前回調査から上昇

問29 あなたは、町の施策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。[1つに○印]



| | | 問29 町政における女性の意見の反映度 | | | | | | |
|----|-------|---------------------|-------------|-------------|--------------|-------|-----|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 無回答 | 平均値 |
| 全体 | | 十分反映されている | ある程度反映されている | あまり反映されていない | ほとんど反映されていない | わからない | | |
| 合計 | 388 | 5 | 119 | 66 | 32 | 153 | 13 | 3.00 |
| | 100.0 | 1.3 | 30.7 | 17.0 | 8.2 | 39.4 | 3.4 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 54 | 27 | 9 | 72 | 6 | 3.10 |
| | 100.0 | 2.3 | 31.4 | 15.7 | 5.2 | 41.9 | 3.5 | |
| | 2. 女性 | 212 | 65 | 38 | 22 | 79 | 7 | 2.93 |
| | 100.0 | 0.5 | 30.7 | 17.9 | 10.4 | 37.3 | 3.3 | |

※構成比は、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

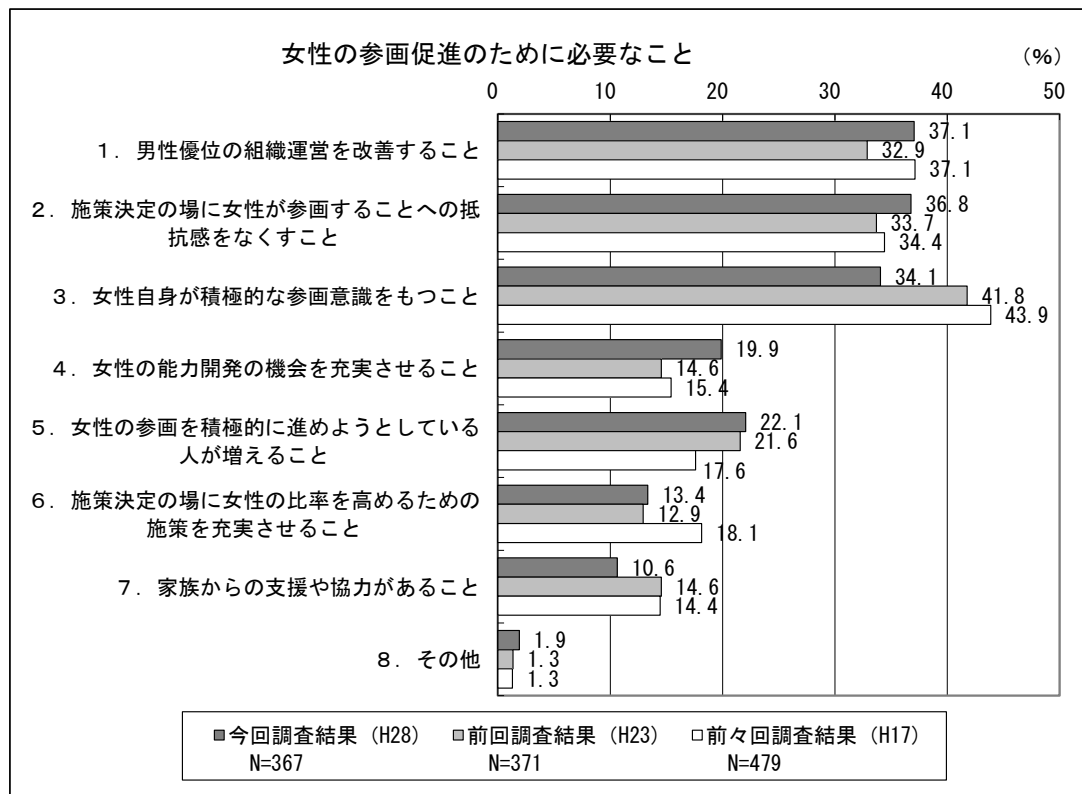
※平均値は、を「1. 十分反映されている」を1、「2. ある程度反映されている」を2、「5. わからない」を3、「3. あまり反映されていない」を4、「4. ほとんど反映されていない」を5とした加重平均を表す。

資料-5 住民意識調査報告書【概要版】

⑦-2 女性の参画促進のために必要なこと [MA]

■ 「男性優位の組織運営の改善」「施策決定の場への女性参画に抵抗感をなくす」「女性自身が積極的な参画意識をもつ」などが高い

問31 議員や審議会委員など、施策決定の場に女性の参画が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○印]



| | 全体 | 問31 女性の参画促進のために必要なこと | | | | | | | | | 回答実数 | |
|----|-------|----------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------|------|-----|------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 無回答 | | |
| | | 男性優位の組織運営を改善すること | 施策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすこと | 女性自身が積極的な参画意識をもつこと | 女性の能力開発の機会を充実させること | 女性の参画を積極的に進めようとしている人が増えること | 施策決定の場に女性の比率を高めるための施策を充実させること | 家族からの支援や協力があること | その他 | 無回答 | | |
| 合計 | 388 | 136 | 135 | 125 | 73 | 81 | 49 | 39 | 7 | 21 | 645 | |
| | | 175.7 | 37.1 | 36.8 | 34.1 | 19.9 | 22.1 | 13.4 | 10.6 | 1.9 | | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 67 | 65 | 58 | 23 | 35 | 24 | 17 | 3 | 7 | 292 |
| | 2. 女性 | 212 | 67 | 68 | 65 | 50 | 45 | 25 | 22 | 4 | 14 | 346 |
| | | 174.7 | 33.8 | 34.3 | 32.8 | 25.3 | 22.7 | 12.6 | 11.1 | 2.0 | | |

※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものの。
 ※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。
 ※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

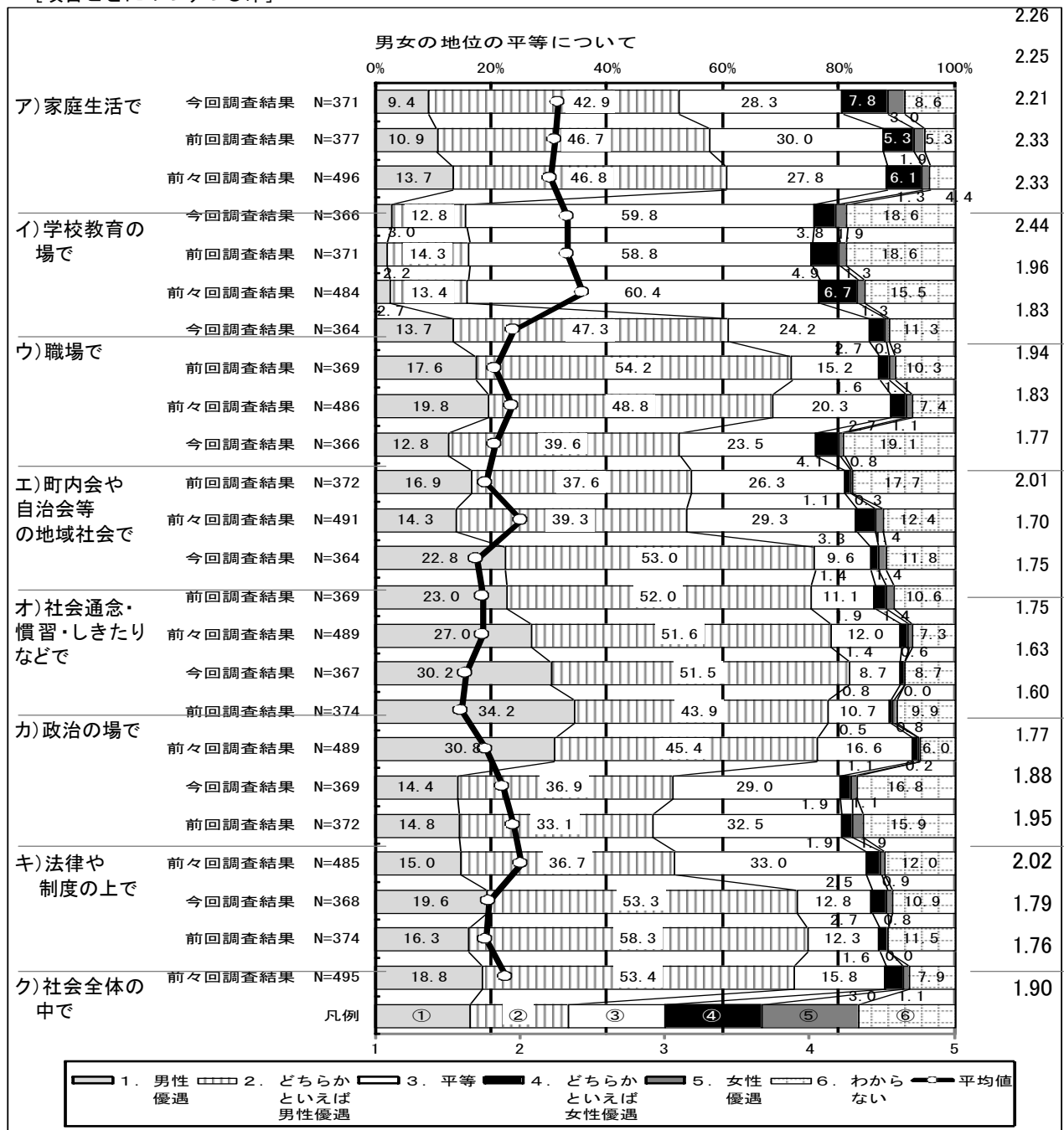
⑧ 男女の地位の平等について

⑧-1 各分野における男女の平等 [SA]

■学校教育の場では「平等」と感じている人が6割程度

○男性優遇と感じられている（平均値が低いもの）は、『カ）政治の場で』が1.63、『オ）社会通念・慣習・しきたりなどで』が1.70、『ク）社会全体の中で』が1.79、一方、平等（平均値が3）に近いものは、『イ）学校教育の場で』が2.33、『ア）家庭生活上で』が2.26

問32 次のア）～ク）のような分野について、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。[平均値
[項目ごとに1つずつ○印]

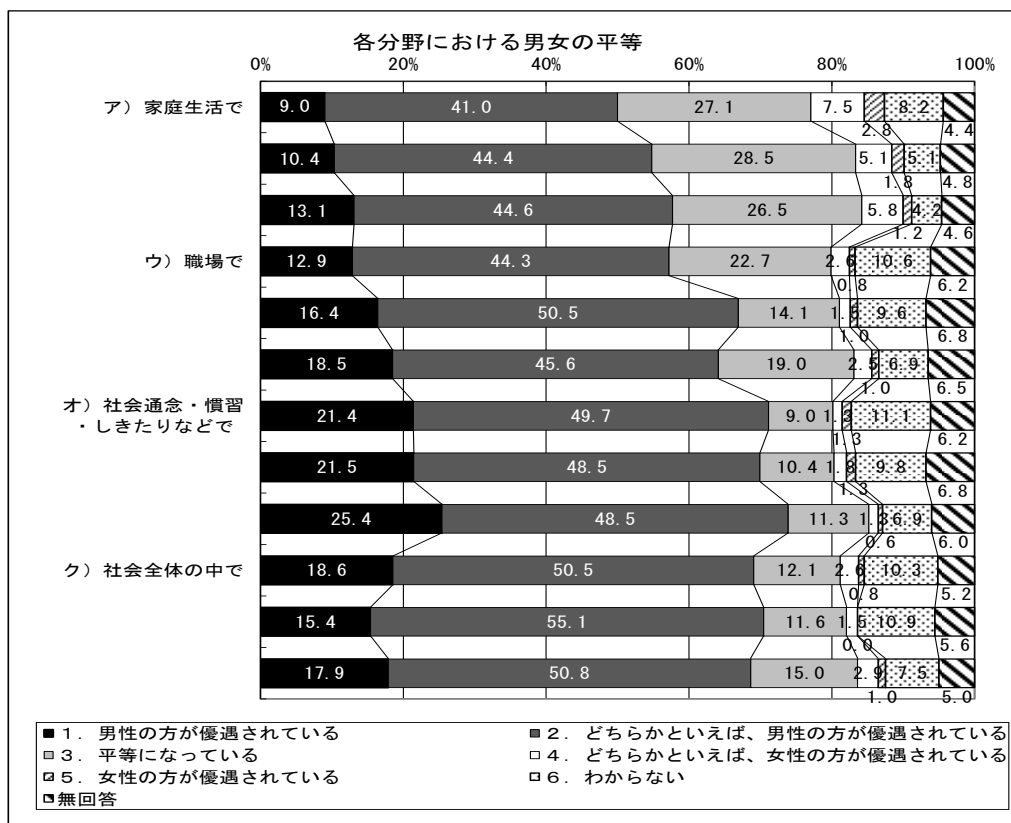


※平均値は、「6. わからない」を除き、「1. 男性優遇」を1、「2. どちらかといえば男性優遇」を2、「3. 平等」を3、「4. どちらかといえば女性優遇」を4、「5. 女性優遇」を5とした加重平均を表す。

資料-5 住民意識調査報告書【概要版】

◆ 目標値の推移（無回答を含む構成比）【太枠は目標値設定項目】

| 項目 | 調査年 | 1 男性優遇 | 2 どちらか といえば 男性優遇 | 3 平等 | 4 どちらか といえば 女性優遇 | 5 女性優遇 | 6 わからない | 無回答 |
|------------------------|-----|-----------|---------------------------|---------|---------------------------|-----------|------------|-----|
| ア) 家庭生活で | H28 | 9.0 | 41.0 | 27.1 | 7.5 | 2.8 | 8.2 | 4.4 |
| | H23 | 10.4 | 44.4 | 28.5 | 5.1 | 1.8 | 5.1 | 4.8 |
| | H18 | 13.1 | 44.6 | 26.5 | 5.8 | 1.2 | 4.2 | 4.6 |
| イ) 学校教育の場で | H28 | 2.8 | 12.1 | 56.4 | 3.6 | 1.8 | 17.5 | 5.7 |
| | H23 | 2.0 | 13.4 | 55.1 | 4.5 | 1.3 | 17.4 | 6.3 |
| | H18 | 2.5 | 12.5 | 56.2 | 6.2 | 1.2 | 14.4 | 7.1 |
| ウ) 職場で | H28 | 12.9 | 44.3 | 22.7 | 2.6 | 0.8 | 10.6 | 6.2 |
| | H23 | 16.4 | 50.5 | 14.1 | 1.5 | 1.0 | 9.6 | 6.8 |
| | H18 | 18.5 | 45.6 | 19.0 | 2.5 | 1.0 | 6.9 | 6.5 |
| エ) 町内会や自治会 等の地域社会で | H28 | 12.1 | 37.4 | 22.2 | 3.9 | 0.8 | 18.0 | 5.7 |
| | H23 | 15.9 | 35.4 | 24.7 | 1.0 | 0.3 | 16.7 | 6.1 |
| | H18 | 13.5 | 37.1 | 27.7 | 3.1 | 1.3 | 11.7 | 5.6 |
| オ) 社会通念・慣習 ・しきたりなどで | H28 | 21.4 | 49.7 | 9.0 | 1.3 | 1.3 | 11.1 | 6.2 |
| | H23 | 21.5 | 48.5 | 10.4 | 1.8 | 1.3 | 9.8 | 6.8 |
| | H18 | 25.4 | 48.5 | 11.3 | 1.3 | 0.6 | 6.9 | 6.0 |
| カ) 政治の場で | H28 | 28.6 | 48.7 | 8.2 | 0.8 | 0.0 | 8.2 | 5.4 |
| | H23 | 32.3 | 41.4 | 10.1 | 0.5 | 0.8 | 9.3 | 5.6 |
| | H18 | 29.0 | 42.7 | 15.6 | 1.0 | 0.2 | 5.6 | 6.0 |
| キ) 法律や制度の 上で | H28 | 13.7 | 35.1 | 27.6 | 1.8 | 1.0 | 16.0 | 4.9 |
| | H23 | 13.9 | 31.1 | 30.6 | 1.8 | 1.8 | 14.9 | 6.1 |
| | H18 | 14.0 | 34.2 | 30.8 | 2.3 | 0.8 | 11.2 | 6.7 |
| ク) 社会全体の中で | H28 | 18.6 | 50.5 | 12.1 | 2.6 | 0.8 | 10.3 | 5.2 |
| | H23 | 15.4 | 55.1 | 11.6 | 1.5 | 0.0 | 10.9 | 5.6 |
| | H18 | 17.9 | 50.8 | 15.0 | 2.9 | 1.0 | 7.5 | 5.0 |



※上段：今回調査（H28）、中段：前回調査（H23）、下段：前々回調査（H18）

| | | 全体 | 問32ア)家庭生活で | | | | | | 無回答 | 平均値 |
|----|-------|--------------|--------------|-----------------------|-------------|-----------------------|--------------|-----------|-----|------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| | | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | |
| 合計 | | 388 100.0 | 35 9.4 | 159 42.9 | 105 28.3 | 29 7.8 | 11 3.0 | 32 8.6 | 17 | 2.26 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 14 8.4 | 59 35.5 | 56 33.7 | 14 8.4 | 7 4.2 | 16 9.6 | 6 | 2.36 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 21 10.4 | 97 48.3 | 48 23.9 | 15 7.5 | 4 2.0 | 16 8.0 | 11 | 2.18 |

| | | 全体 | 問32イ)学校教育の場で | | | | | | 無回答 | 平均値 |
|----|-------|--------------|--------------|-----------------------|-------------|-----------------------|--------------|------------|-----|------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| | | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | |
| 合計 | | 388 100.0 | 11 3.0 | 47 12.8 | 219 59.8 | 14 3.8 | 7 1.9 | 68 18.6 | 22 | 2.33 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 4 2.5 | 11 6.7 | 96 58.9 | 8 4.9 | 5 3.1 | 39 23.9 | 9 | 2.28 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 7 3.5 | 36 18.1 | 119 59.8 | 6 3.0 | 2 1.0 | 29 14.6 | 13 | 2.36 |

| | | 全体 | 問32ウ)職場で | | | | | | 無回答 | 平均値 |
|----|-------|--------------|--------------|-----------------------|------------|-----------------------|--------------|------------|-----|------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| | | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | |
| 合計 | | 388 100.0 | 50 13.7 | 172 47.3 | 88 24.2 | 10 2.7 | 3 0.8 | 41 11.3 | 24 | 1.96 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 20 12.2 | 70 42.7 | 45 27.4 | 6 3.7 | 3 1.8 | 20 12.2 | 8 | 2.04 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 30 15.3 | 100 51.0 | 41 20.9 | 4 2.0 | 0 0.0 | 21 10.7 | 16 | 1.88 |

| | | 全体 | 問32エ)町内会や自治会等の地域社会で | | | | | | 無回答 | 平均値 |
|----|-------|--------------|---------------------|-----------------------|------------|-----------------------|--------------|------------|-----|------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| | | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | |
| 合計 | | 388 100.0 | 47 12.8 | 145 39.6 | 86 23.5 | 15 4.1 | 3 0.8 | 70 19.1 | 22 | 1.83 |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 19 11.6 | 55 33.5 | 43 26.2 | 6 3.7 | 1 0.6 | 40 24.4 | 8 | 1.75 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 28 14.1 | 86 43.4 | 43 21.7 | 9 4.5 | 2 1.0 | 30 15.2 | 14 | 1.89 |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

※平均値は、「6. わからない」を除き、「1. 男性優遇」を1、「2. どちらかといえば男性優遇」を2、「3. 平等」を3、「4. どちらかといえば女性優遇」を4、「5. 女性優遇」を5とした加重平均を表す。

資料-5 住民意識調査報告書【概要版】

| | | 問32オ) 社会通念・慣習・しきたりなどで | | | | | | | | |
|----|--------------|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|--------------|------------|------------|------|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 無回答 | 平均値 | |
| | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | | |
| 合計 | 388 100.0 | 83 22.8 | 193 53.0 | 35 9.6 | 5 1.4 | 5 1.4 | 43 11.8 | 24 | 1.70 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 32 19.9 | 90 55.9 | 16 9.9 | 3 1.9 | 2 1.2 | 18 11.2 | 11 | 1.75 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 49 24.6 | 101 50.8 | 19 9.5 | 2 1.0 | 3 1.5 | 25 12.6 | 13 | 1.66 |

| | | 問32カ) 政治の場で | | | | | | | | |
|----|--------------|--------------|-----------------------|-------------|-----------------------|--------------|-----------|-----------|------|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 無回答 | 平均値 | |
| | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | | |
| 合計 | 388 100.0 | 111 30.2 | 189 51.5 | 32 8.7 | 3 0.8 | 0 0.0 | 32 8.7 | 21 | 1.63 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 42 25.6 | 86 52.4 | 22 13.4 | 1 0.6 | 0 0.0 | 13 7.9 | 8 | 1.73 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 68 34.2 | 100 50.3 | 10 5.0 | 2 1.0 | 0 0.0 | 19 9.5 | 13 | 1.54 |

| | | 問32キ) 法律や制度の上で | | | | | | | | |
|----|--------------|----------------|-----------------------|-------------|-----------------------|--------------|------------|------------|------|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 無回答 | 平均値 | |
| | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | | |
| 合計 | 388 100.0 | 53 14.4 | 136 36.9 | 107 29.0 | 7 1.9 | 4 1.1 | 62 16.8 | 19 | 1.88 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 13 7.9 | 57 34.5 | 62 37.6 | 5 3.0 | 4 2.4 | 24 14.5 | 7 | 2.14 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 39 19.5 | 77 38.5 | 45 22.5 | 2 1.0 | 0 0.0 | 37 18.5 | 12 | 1.68 |

| | | 問32ク) 社会全体の中で | | | | | | | | |
|----|--------------|---------------|-----------------------|-------------|-----------------------|--------------|------------|------------|------|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 無回答 | 平均値 | |
| | | 男性の方が優遇されている | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば、女性の方が優遇されている | 女性の方が優遇されている | わからない | | | |
| 合計 | 388 100.0 | 72 19.6 | 196 53.3 | 47 12.8 | 10 2.7 | 3 0.8 | 40 10.9 | 20 | 1.79 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 100.0 | 25 15.2 | 86 52.4 | 24 14.6 | 7 4.3 | 3 1.8 | 19 11.6 | 8 | 1.90 |
| | 2. 女性 | 212 100.0 | 45 22.5 | 109 54.5 | 23 11.5 | 3 1.5 | 0 0.0 | 20 10.0 | 12 | 1.72 |

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数と一致しない。

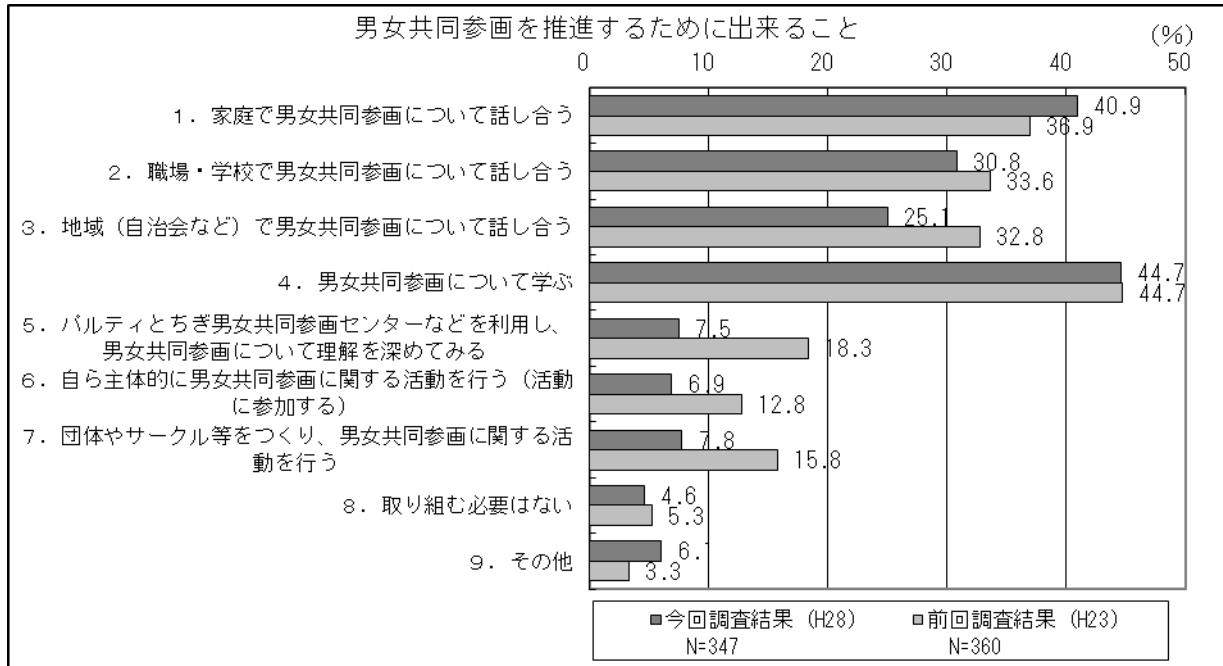
※平均値は、「6. わからない」を除き、「1. 男性優遇」を1、「2. どちらかといえば男性優遇」を2、「3. 平等」を3、「4. どちらかといえば女性優遇」を4、「5. 女性優遇」を5とした加重平均を表す。

⑨ 男女共同参画の推進について

⑨-1 男女共同参画を推進するために出来ること [MA]

■ 「男女共同参画について学ぶ」「家庭で男女共同参画について話し合う」が4割

問35 男女共同参画を推進するために、あなた自身ではどのようなことができますか。[あてはまるものすべてに○印]



| | 全体 | 問35 男女共同参画を推進するために出来ること | | | | | | | | | | 回答実数 | |
|----|--------------|-------------------------|----------------------|--------------------------|--------------|--|--------------------------------|------------------------------|-----------|-----------|-----------|------|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 無回答 | | |
| | | 家庭で男女共同参画について話し合う | 職場・学校で男女共同参画について話し合う | 地域(自治会など)で男女共同参画について話し合う | 男女共同参画について学ぶ | パルティとちぎ男女共同参画センターなどを利用し、男女共同参画について理解を深めてみる | 自ら主体的に男女共同参画に関する活動を行う(活動に参加する) | 団体やサークル等をつくり、男女共同参画に関する活動を行う | 取り組む必要はない | その他 | 無回答 | | |
| 合計 | 388 174.4 | 142 40.9 | 107 30.8 | 87 25.1 | 155 44.7 | 26 7.5 | 24 6.9 | 27 7.8 | 16 4.6 | 21 6.1 | 41 | 605 | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 173.1 | 68 43.6 | 52 33.3 | 45 28.8 | 63 40.4 | 8 5.1 | 6 3.8 | 10 6.4 | 8 5.1 | 10 6.4 | 16 | 270 |
| | 2. 女性 | 212 172.7 | 72 38.5 | 52 27.8 | 39 20.9 | 89 47.6 | 17 9.1 | 18 9.6 | 17 9.1 | 8 4.3 | 11 5.9 | 25 | 323 |

※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したもの。

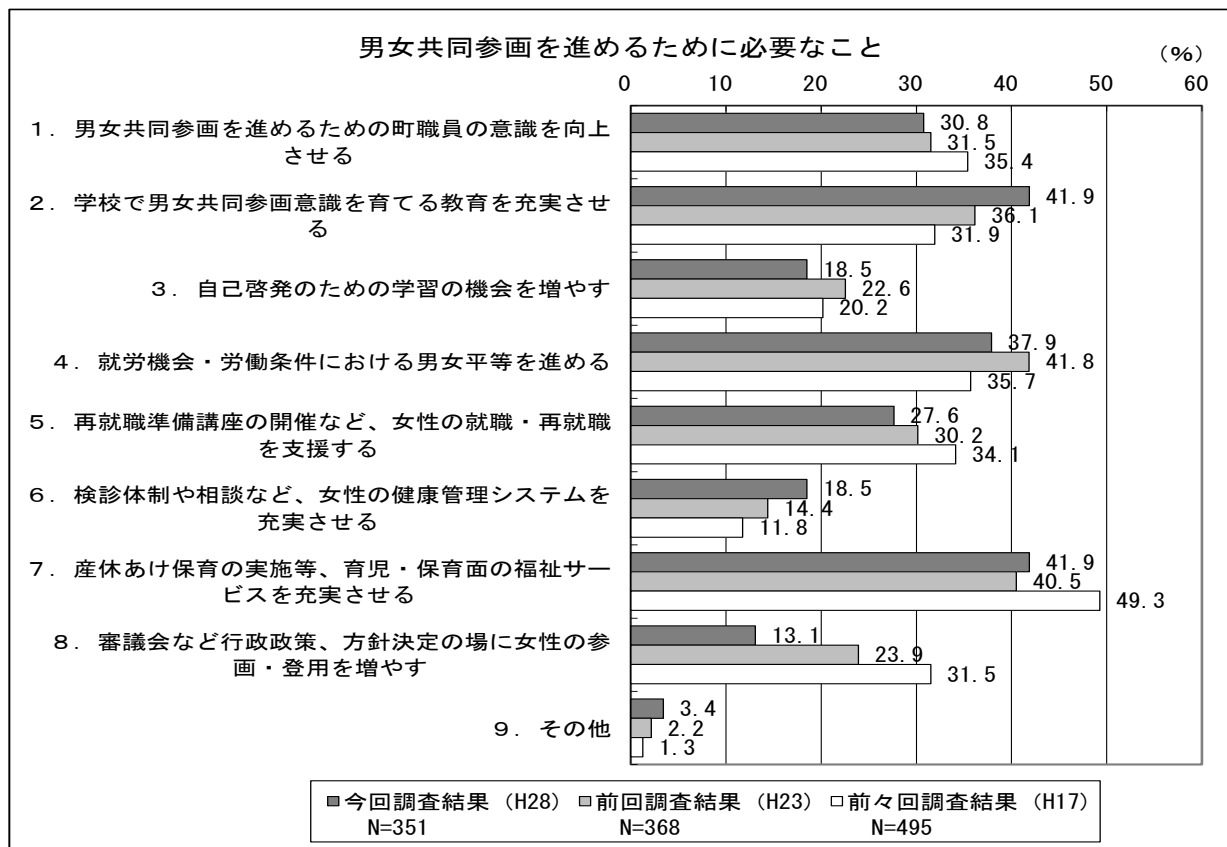
※構成比は、不明(無回答)を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。

※合計には、性別不詳(無回答)を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

10-4. 男女共同参画を進めるために必要なこと【MA】

■ 「学校での男女共同参画意識を育てる教育の充実」と「育児・保育面の福祉サービスの充実」が約4割

問36 男女共同参画を推進するために、町に力を入れてほしいと思うものは何ですか。〔3つ以内で○印〕



| | 全体 | 問36 男女共同参画を進めるために必要なこと | | | | | | | | | 回答実数 | | |
|----|-------|------------------------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | 無回答 | |
| 合計 | 388 | 108 | 147 | 65 | 133 | 97 | 65 | 147 | 46 | 12 | 37 | 820 | |
| | 233.6 | 30.8 | 41.9 | 18.5 | 37.9 | 27.6 | 18.5 | 41.9 | 13.1 | 3.4 | | | |
| 性別 | 1. 男性 | 172 | 54 | 69 | 30 | 62 | 38 | 25 | 55 | 29 | 7 | 14 | 369 |
| | 2. 女性 | 212 | 53 | 76 | 33 | 70 | 59 | 40 | 91 | 16 | 5 | 22 | 443 |
| | 233.2 | 27.9 | 40.0 | 17.4 | 36.8 | 31.1 | 21.1 | 47.9 | 8.4 | 2.6 | | | |

※複数回答の場合の構成比は、各選択肢の回答実数に対する回答者数の割合を示したものです。

※構成比は、不明（無回答）を除き、小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

※合計には、性別不詳（無回答）を含むため、男性・女性の合計は回答者数及び回答実数と一致しない。

資料-6・男女共同参画に関する中学生意識調査報告書【概要版】

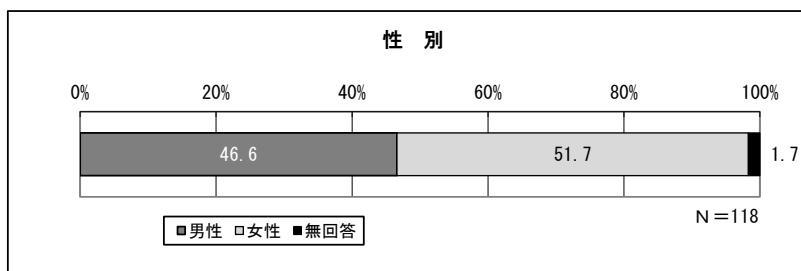
I 調査概要

- 調査の目的：中学生を対象に、家庭や学校における男女の役割分担意識や異性間の暴力に関する認識などを調査し、「壬生町男女共同参画プラン」を策定する際の基礎資料とすることを目的とする。また、今後若年層に向けた男女共同参画の啓発事業を推進する上で、参考として活用します。
- 調査の対象：町内中学校に在学する2年生（回答数118人）
（町内各中学校の2年生のうち、任意に選んだ各中学校2クラスの生徒）
- 調査の期間：平成28年9月23日（金）～平成28年10月7日（金）

II 集計結果

問1. あなたの性別はどちらですか？ [SA]

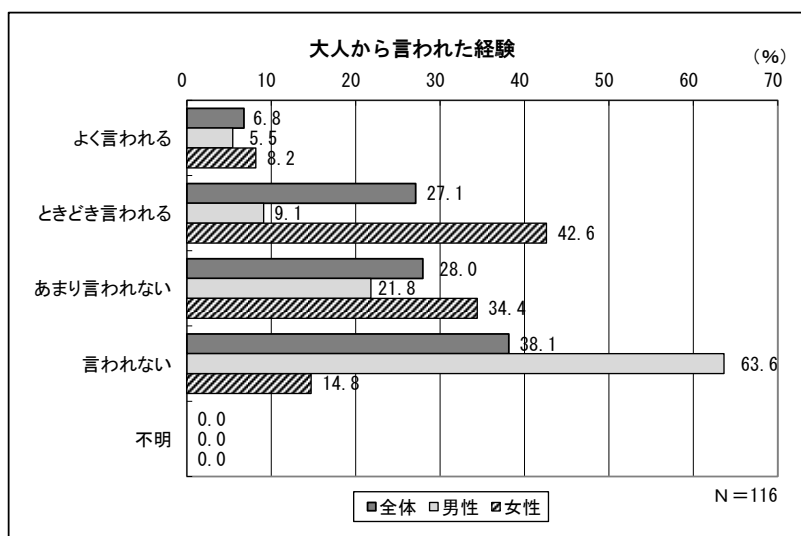
○「1. 男性」が46.6%、「2. 女性」が51.7%となっている。



問2. 周りの大人から「男の子らしくしなさい」「女の子らしくしなさい」、または、「男の子のくせに」「女の子のくせに」と言われたことがありますか？ [SA]

■「言われたい」は全体の3分の2、女性の方が言われる傾向が高い

○「言われたい」が最も多く38.1%、次いで「あまり言われたい」が28.0%で、これらを合わせた『言われたい(計)』は66.1%となっている。
○男性では「言われたい」が63.6%と高いのに比べ、女性では「ときどき言われる」が42.6%と高くなっている。

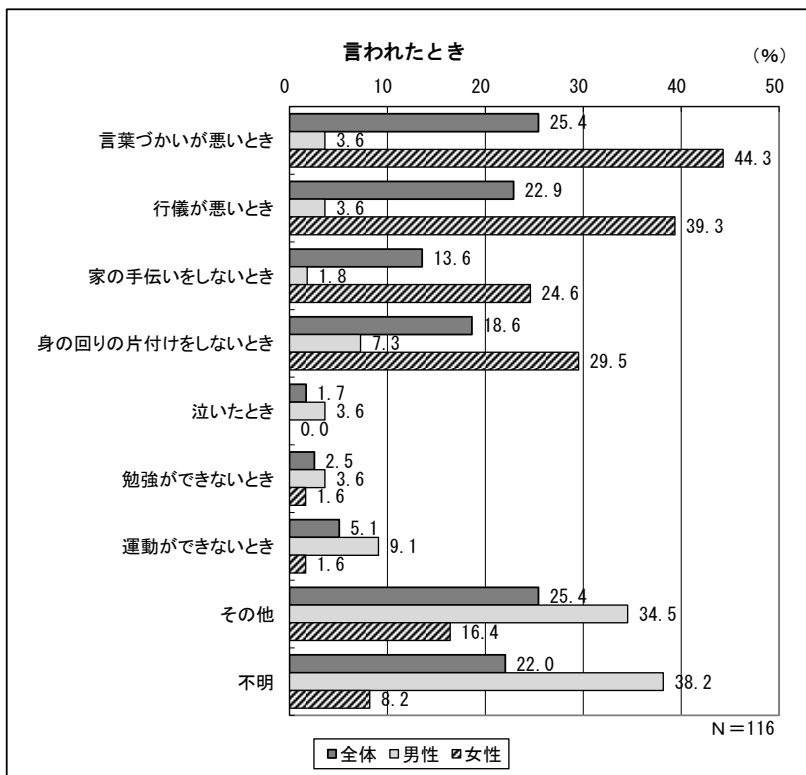


資料-6 中学生意識調査報告書【概要版】

問3. 「男（女）の子らしくしなさい」「男（女）のくせに」と言われたのは、どんな時ですか？ [MA（あてはまるものすべて）]

■ 「言葉づかいが悪いとき」、「行儀が悪いとき」が多い

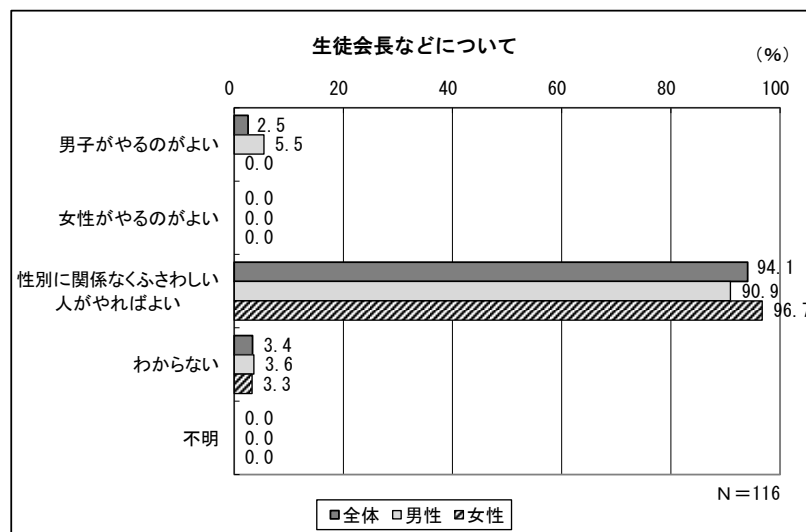
○ 「言葉づかいが悪いとき」と「その他」が25.4%と最も多く、次いで「行儀が悪いとき」が22.9%、「身の回りの片付けをしないとき」が18.6%となっている。



問4. 生徒会長や委員長、部活動の部長などについて、あなたの考えに近いものはどれですか？ [SA]

■ 「性別に関係なくふさわしい人がやればよい」が9割以上

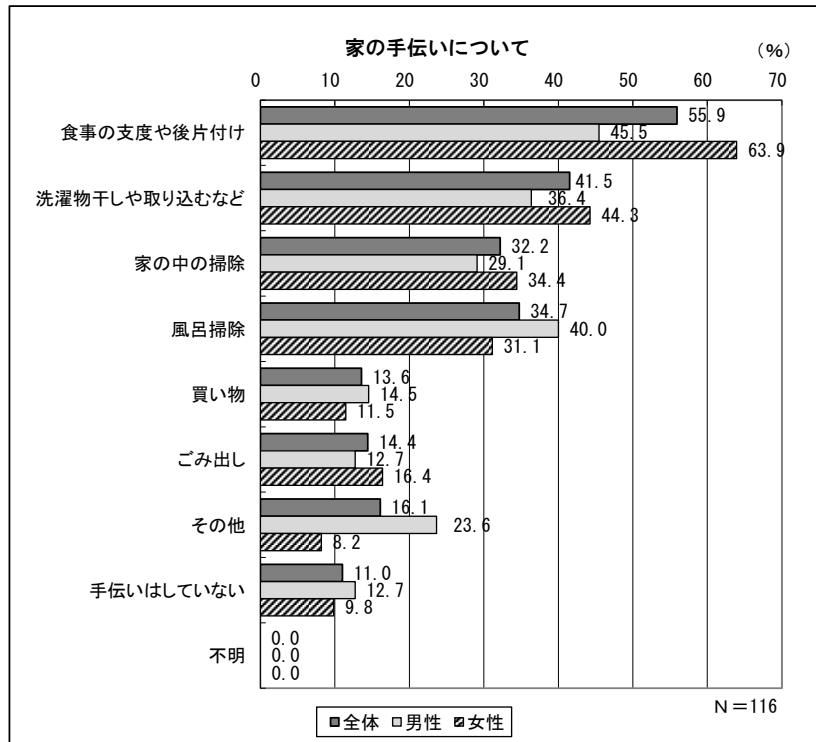
○ 「性別に関係なくふさわしい人がやればよい」が94.1%と圧倒的に多くなっている。



問5. あなたが最近した家の手伝いはどれですか？ [MA (あてはまるものすべて)]

■ 約9割は手伝いをしており、「食事の支度や後片付け」が多い

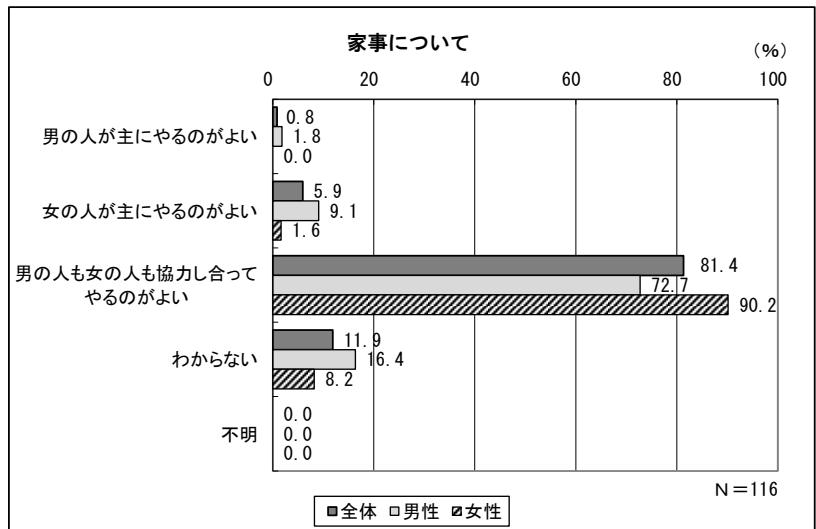
- 「手伝いはしていない」は11.0%で、約9割は家で何らかの手伝いをしている。
- 「食事の支度や後片付け」が55.9%と最も多く、次いで「洗濯物干しや取り込むなど」が41.5%、「風呂掃除」が34.7%となっている。



問6. 家の中で、食事の支度や掃除、洗濯などの家事は誰がやるのが一番よいと思いますか？ [SA]

■ 「男の人も女の人も協力し合ってやるのがよい」が8割以上

- 「男の人も女の人も協力し合ってやるのがよい」が81.4%と最も多くなっている。
- 男性では「女の人が主にやるのがよい」が約1割ある一方、女性では「男の人も女の人も協力し合ってやるのがよい」が9割を占めている。

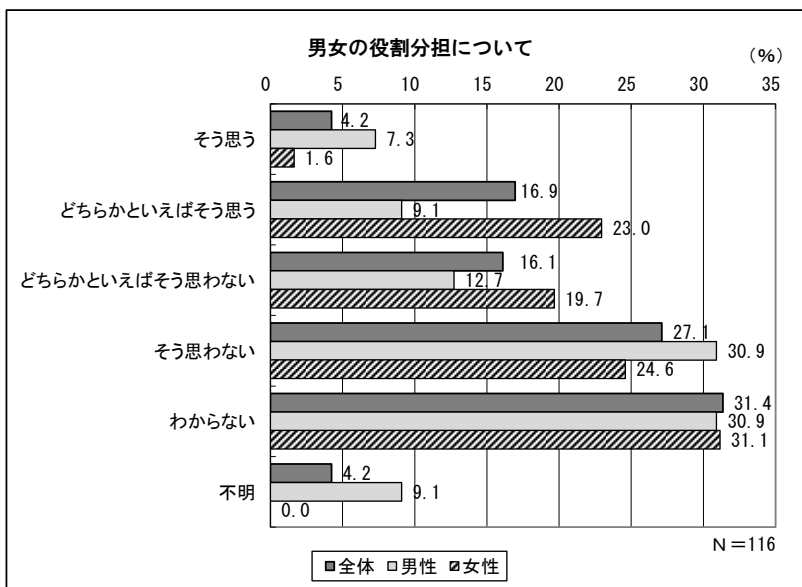


資料-6 中学生意識調査報告書【概要版】

問7. 「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方について、あなたの考えに近いものはどれですか？ [SA]

■ 「そう思わない」が4割以上、女性の方が「そう思う」の割合が高い

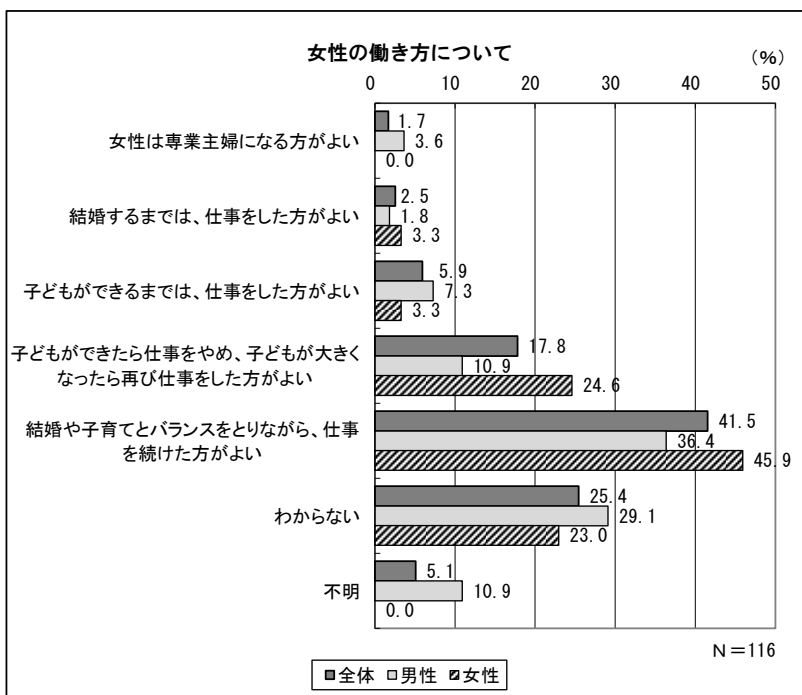
○ 「わからない」が31.4%と最も多く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない(計)』は43.2%で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』の21.1%を約22ポイント上回っている。



問8. 女性の働き方(仕事)について、あなたの考えに近いものはどれですか？ [SA]

■ 「結婚や子育てとバランスをとりながら、仕事を続けた方がよい」が4割強

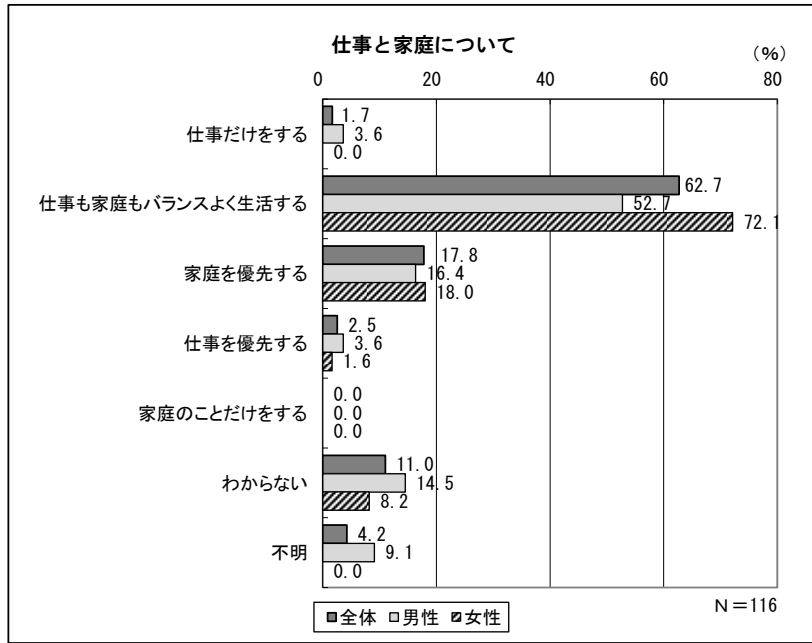
○ 「結婚や子育てとバランスをとりながら、仕事を続けた方がよい」が41.5%と最も多く、次いで「わからない」が25.4%、「子どもができたなら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をした方がよい」が17.8%となっている。



問9. これからの仕事と家庭（子育てや家事など）について、あなたはどれがよいと思いますか？ [SA]

■ 「仕事も家庭もバランスよく生活する」が約3分の2、女性の割合が高い

- 「仕事も家庭もバランスよく生活する」が62.7%と最も多く、次いで「家庭を優先する」が17.8%となっている。
- 女性は「仕事も家庭もバランスよく生活する」が72.1%と、男性に比べて高い。



問10. デートDV（交際相手との間での暴力）という言葉がありますが、あなたが交際するとしたら、交際相手との間で、次のような行為は暴力にあたるとお考えですか？ [MA（あてはまるものすべて）]

■ 「たたいたり、けったりする」、「大声でどなる、傷つくことを言う」が7～8割

- 全体の77.1%が「たたいたり、けったりする」行為が暴力にあたると回答している。次に多いのは「大声でどなる、傷つくことを言う」が65.3%、「行動を監視したり、友人とのつきあいを制限したりする」が63.6%となっている。

